

医 と 社 会

責任者	氏 名	安武 亨	内 線	7987
	教 室	先端医育支援センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	医と社会7.5単位の一部
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

がん患者などのターミナルケアなどの医療場面では、たびたび対応が難しい場面に遭遇する。このような状況でのがん患者などへのインフォームドコンセントの取り方及び患者や家族の心の葛藤及びケアについて学ぶ。また大学病院及び地域医療におけるターミナルケアの現状及び取り組みについても学ぶ。

またコア・カリキュラムにもあげられているリスクマネジメント、医療事故及び医療法制、死生学を取り上げる。

臨床の現場では、医療事故を如何に防止するかについて安全管理に関する心構えを身に付けかつ倫理面を認識した上での医事法制を学ぶ。

2. 授業内容（講義・実習項目）

がん患者やその家族の心の葛藤及びケアについて学ぶとともに、医師としてのがん患者やターミナルケアにおける実際の接し方を教授する。また大学病院及び地域医療でターミナルケアがどのように実践されているかを講義する。その他ターミナルケアが必要ながん患者へのインフォームドコンセントの行い方を模擬患者を使って経験する。

また医療マネジメント、医療事故に関し具体例をあげ、医療リスクマネジメントの実際を学ぶ。さらに医師にとって重要である医療情報のITとその安全管理や医事法制についても法律の専門家による講義を予定する。医師にとって必要な法的側面及び倫理観、宗教観からみた死生学について講義する。

3. 教科書、参考書等

特に指定しない。医療マネジメント、医事法制などの出版物は少なくない。
必要に応じて各講義で紹介する。

4. 成績評価の方法・基準

レポート、出欠状況及び授業を行った教員の評価結果を総合して決定する。講義・実習には全て出席すること。講義を欠席した学生には別途課題を課します。

5. 教員名

医育支援センター：安武亨、分部哲秋、桑原宏永、松本恵

麻酔科：北條美能留

メディカル・ワークライフバランスセンター：伊東昌子

救命救急センター：山下和範

保健学科：大西眞由美

歯学部：藤原 卓

非常勤：永田耕司（活水女子大学教授）

非常勤：向原茂明（長崎県福祉保健部参事監）

非常勤：出口雅浩（出口外科医院副院長）

非常勤：児島達美（長崎純心大学人文学部教授）

非常勤：浅野直人（福岡大学法学部長）

非常勤：池内 了（国立大学法人総合研究大学院大学教授）

非常勤：早島 理（滋賀医科大学名誉教授、哲学倫理学）

非常勤：福田浩久（弁護士）

医と社会授業予定(4年前期)

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	4	水	4	(がん)患者とのコミュニケーション	非常勤・永田	第4
4	11	水	4	医療リスクマネジメント(保健学科と共修)	非常勤・向原	第4
4	18	水	4	緩和ケアと在宅医療(保健学科と共修)	非常勤・出口	第4
5	2	水	2	がん患者と家族	非常勤・児島	第4
5	9	水	4	大学病院における緩和ケア	麻酔科・北條	第4
5	16	水	4	医事法制	非常勤・浅野	第4
5	30	水	4	ワークライフバランスとダイバーシティ	メディカル・ワークライフバランスセンター・伊東昌子	第4
6	6	水	4	医療と科学、人間	非常勤・池内	第4
6	13	水	4	死生学	非常勤・早島	第4
6	20	水	4	医療人におけるワークライフバランス	メディカル・ワークライフバランスセンター・伊東昌子	第4
6	27	水	4	災害医療	救命センター・山下	第4
7	4	水	4	途上国における国際保健	保健学科・大西	第4
7	11	水	3	医療情報におけるITと安全管理	歯学部・藤原	第4
			4	法社会と医療	非常勤・福田	

脳 ・ 神 経 系

責任者	氏 名	中 村 龍 文	内 線	7265
	教 室	感染分子病態学 (病態生理制御学)	e-mail	tatsu@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Diseases of Nervous System		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

人間の脳・神経系は巧みに構築された高次構造・ネットワークによって機能している。神経疾患は、種々の原因（先天異常・遺伝子異常・感染症・炎症・外傷・血管障害・腫瘍・脱髄・変性・免疫異常など）に基づいたこれらの異常によって生じてくる。脳・神経系は中枢神経・末梢神経・神経筋接合部・筋に分けられるが、それらの場において、多種多彩な病因・病態が存在する。脳・神経系の教育目標・方針は、神経学に必要な基礎的領域をもとに、神経疾患をSystematicに学ぶことにある。

2. 授業内容（講義・実習項目）

全57時間のうち、神経内科学24、脳神経外科学15、小児神経学9、整形外科6、精神神経学3時間から、構成されている。まず、神経学総論は、解剖学・生理学などの基礎的知識をもとに全ての神経系を網羅し、主として神経内科学が担当して行われる。加えて小児神経学の立場から、発達神経学の基礎知識の修得、精神神経学より知能についての講義が行われる。更に、神経診断学を含めた神経学的検査法が、神経内科学、脳神経外科学的立場より講義される。神経学各論では、個々の機能的、器質的疾患に関して、神経内科、脳神経外科、小児神経、整形外科、精神神経科学的領域よりそれぞれ講義される。

3. 教科書、参考書等

必要に応じてプリントを配布する。

書 名	著 者	出版社	定 価
★神経内科学	第一内科神経グループ		1,000 円
★Pediatric Neurology	Swaiman	Mosby	
★標準整形外科学	広畑和志他	医学書院	8,700 円
★ニュースタANDARD 脳神経外科学	生塩之敬, 種子田護, 山田和雄	三輪書店	7,350 円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験。

5. 教員名

先進感染制御学・感染免疫学：中村龍文

第一内科：本村政勝、中嶋秀樹、吉村俊朗（保健学専攻）、辻野 彰（脳卒中センター）、立石洋平（脳卒中センター）、中根俊成（非常勤講師）

脳神経外科：松尾孝之、角田圭司、馬場史郎、

馬場啓至（非常勤講師）、栗原正紀（非常勤講師）、田淵和雄（非常勤講師）

小児科：松坂哲應（非常勤講師）、津留 陽（非常勤講師）

整形外科：梶山史郎、田上敦士

精神神経科：小澤寛樹、今村 明

6. 備考（準備学習等）

講義ごとに学習テーマを呈示する。

脳・神経系授業予定（４年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	2	月	1	神経学総論	神経系の構成・神経病の診断 大脳半球の機能局在・高次機能	保健学科・吉村	第4
			2	神経学総論	間脳、脳神経、脳幹		
4	5	木	4	神経学総論	小脳の機能と障害 脊髄機能・運動麻痺・歩行障害	保健学科・吉村	第4
4	9	月	1	神経学総論/神経学的検査	大脳基底核と錐体路、感覚障害意識障害・髄膜刺激症状・脳圧亢進症状 神経学的検査	保健学科・吉村	第4
			2	脱髄性疾患	脱髄性疾患総論	感染免疫・中村	
4	12	木	4	変性疾患/中毒	脊髄の変性疾患 農薬 重金属 有機溶媒 薬剤等による中毒	第一内科・中嶋	第4
4	16	月	1	変性疾患	大脳の変性疾患	非常勤・中根	第4
			2	変性疾患	小脳の変性疾患 その他	非常勤・中根	
4	19	木	4	頭部外傷	急性期頭部外傷（I）	脳外科・馬場史郎	第4
4	23	月	1	頭部外傷	急性期頭部外傷（II）・頭部外傷合併症	脳外科・馬場史郎	第4
			2	脳血管障害	脳血管疾患総論・脳血管疾患病態生理	脳卒中センター・立石	
4	26	木	4	脳血管障害	画像診断・脳血管疾患各論	脳卒中センター・辻野	第4
5	7	月	1	脳血管障害	出血性脳血管障害	脳外科・馬場史郎	第4
			2	脳血管障害	虚血性脳血管障害	脳外科・馬場史郎	
5	10	木	4	てんかん（a）	てんかんの外科的治療	非常勤・馬場啓至	第4
5	14	月	3	脳血管障害	これからの脳卒中リハビリテーション	非常勤・栗原	第4
			4	脳神経外科概論	脳科学と脳外科臨床のかかわり	非常勤・田渕	
5	17	木	4	神経学的検査/先天異常・発育障害	神経学的検査 水頭症 その他	脳外科・角田	第4
5	21	月	3	脳腫瘍	脳腫瘍各論	脳外科・松尾	第4
			4	脳腫瘍	脳腫瘍総括	脳外科・松尾	
5	24	木	4	脊椎・脊髄疾患	脊髄の生理・解剖	整形外科・田上	第4
5	28	月	3	小児発達総論	神経系の発達と精神運動機能 小児神経学的診察	非常勤・津留	第4
			4	小児神経各論①	小児神経各論①	非常勤・津留	
5	31	木	4	小児神経各論②	小児神経各論②	非常勤・津留	第4
6	4	月	3	小児神経各論③	小児神経各論③	非常勤・津留	第4
			4	感染症疾患	ウイルス性疾患	感染免疫・中村	

脳・神経系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	7	木	4	感染症疾患	細菌性疾患 その他の感染症	感染免疫・中村	第4
6	11	月	3	てんかん(c)	てんかんおよびてんかん症候群分類	非常勤・松坂	第4
			4	てんかん(d)	小児てんかんの診断治療	非常勤・松坂	
6	14	木	4	てんかん(b)	遅発性（非小児期）発症てんかん てんかんと精神症状	精神科・今村	第4
6	18	月	3	神経筋接合部疾患	神経筋接合部構造と機能 電気生理学各論	第一内科・本村	第4
			4	知能低下	知能の定義・測定法・因子構成 知能低下の諸様相	精神科・小澤	
6	21	木	4	脊椎・脊髄疾患	頸椎，頸髄疾患 胸椎，胸髄疾患	整形外科・田上	第4
6	25	月	3	末梢神経(a)	末梢神経障害の病態生理 電気生理学末梢神経疾患 各論	保健学科・吉村	第4
			4	脊椎・脊髄疾患	筋疾患，麻痺性疾患の診断と治療末梢神経の解剖，生理とその診断治療	整形外科・梶山	
6	28	木	4	筋疾患・麻痺性疾患/末梢神経(b)	腰椎疾患	整形外科・田上	第4
7	5	木	4	ミオパチー	ミオパチーの病態生理 電気生理学ミオパチー疾患 各論	保健学科・吉村	第4
7	12	木	4	内科疾患に伴う神経疾患/頭痛/自律神経の疾患	内科疾患に伴う神経疾患 頭痛の分類・病態生理・各論 神経痛 自律神経系の疾患総論・各論	非常勤・中根	第4

運 動 系

責任者	氏 名	尾崎 誠	内 線	7321
	教 室	整形外科学（構造病態整形外科学）	e-mail	mosaki@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:00～18:00		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Musculo-skeletal system, lecture		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

四肢、脊椎、顔面等の運動器では、炎症、変性、腫瘍、外傷、先天異常、代謝疾患、血行障害など数多くの疾患が生じる可能性を含んでいる。これらの疾患を理解するためには、骨・関節系統のみならず神経・筋系統の広範な領域にわたる正常の機能を把握する必要がある。これらの疾患の治療目的は、生命の維持と疾患の予防ならびに機能確保・機能再建である。

学生諸君には運動器疾患の基礎として骨・関節・筋・神経の生理・代謝・構造の理解を求める。次に種々の検査法を含めた診断学、さらに治療学の概略ならびに各部位別の疾患とその治療法につき理解を求める。また急性疾患では適切な救急処置が出来るよう教育する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

主にプリントとスライドによる講義である。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
標準整形外科学	中村利孝・内田淳正ほか	医学書院	9,870 円
整形外科サブノート	東 博彦ほか	南江堂	5,460 円
標準形成外科学 第5版	秦 維郎・野崎幹弘 編集	医学書院	7,140 円
TEXT 形成外科学 第2版	波利井清紀 監修	南山堂	6,300 円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験（出題範囲は講義内容と上記教科書）

評価には出席日数を考慮する

5. 教員名

整形外科： 尾崎誠、馬場秀夫、富田雅人、米倉暁彦、古川敬三、宮本俊之、
宮本力、宮田倫明、穂積晃、梶山史郎、木寺健一、田上敦士、
後藤久貴、福島達也、田口憲士

形成外科：平野明喜、田中克己

6. 備考（準備学習等）

解剖学、生理学、生化学等の基礎的知識を整理しておくこと。

運動系授業予定（４年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	2	月	3	運動系総論（１）	総論、歴史	整形・尾崎	第４
			4	運動系総論（２）	診断学	整形・木寺	
4	4	水	3	運動系総論（３）	骨・軟骨の生理と病理	整形・宮田	第４
4	9	月	3	運動系総論（４）	治療学	整形・宮本(俊)	第４
			4	下肢の疾患（１）	小児股関節疾患	整形・後藤	
4	11	水	3	上肢の疾患（１）	肩関節	整形・古川	第４
4	16	月	3	リハビリ（１，２）	リハビリ（総論）	整形・米倉	第４
			4		リハビリ（各論）		
4	18	水	3	下肢の疾患（２）	股関節（成人）（A）	整形・後藤	第４
4	23	月	3	炎症性疾患（１）	関節リウマチ	整形・宮本(力)	第４
			4	腫瘍性疾患（１）	骨軟部腫瘍；診断学	整形・富田	
5	2	水	3	下肢の疾患（３）	股関節（成人）（B）	整形・後藤	第４
5	7	月	3	脊椎（１，２）	総論	整形・馬場	第４
			4		外傷		
5	9	水	3	脊椎（３，４）	各論（A）	整形・田上	第４
5	14	月	1	下肢の疾患（４）	膝関節・足関節・足趾	整形・米倉	第４
			2	骨・関節の外傷（１）	外傷総論	整形・宮本(俊)	
5	16	水	3	脊椎（３，４）	各論（B）	整形・田上	第４
5	21	月	1	炎症性疾患（２）	リウマチ類似疾患	整形・宮本(力)	第４
			2	骨・関節の外傷（２）	上肢の外傷	整形・福島	
5	28	月	1	腫瘍性疾患（２）	悪性骨軟部腫瘍	整形・富田	第４
			2	骨・関節の外傷（３）	下肢の外傷	整形・田口	
5	30	水	3	腫瘍性疾患（３）	良性骨軟部腫瘍	整形・宮田	第４
6	4	月	1	上肢の疾患（２）	肘関節・手関節	整形・梶山	第４
			2	炎症性疾患（３）	骨・関節の感染症	整形・梶山	
6	6	水	3	顔面外傷	顔面外傷総論；軟部組織損傷・顔面骨骨折	形成・平野	第４
6	13	水	3	手の外傷	手・指の機能解剖と手の外傷	形成・田中	第４

1校時 8:50～10:20
 2校時 10:30～12:00
 3校時 13:00～14:30
 4校時 14:40～16:10

消化器系

責任者	氏名	中尾 一彦	内線	7481
	教室	消化器内科	e-mail	kazuhiko@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日 午前8:30~12:00		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Digestive disease		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

消化器系は口腔・唾液腺に始まり、食道・胃・小腸・結腸・直腸・肛門に至る消化管系と肝臓、胆嚢、胆管、膵臓よりなる肝胆膵系に大別される。消化器の病理、症状、検査、内科的消化器疾患、外科的消化器疾患、手術法などを統合包括的に把握し、消化器疾患における基礎的、臨床的な基本的知識を理解、修得する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

消化器系を消化管系と肝胆膵系に大別し、それぞれを病理学、内科学、外科学の順に講義を進行させる。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
1. 消化器病（胃・腸・食道） 分子カギから病態・診断・治療まで	菅野健太郎 日比紀文 星原芳雄	編 羊土社	6,700 円
2. 図説病態内科講座 消化管2	矢崎義雄	編 Medical View	22,000 円
3. 消化器内視鏡診断テキスト 第1巻：食道・胃・十二指腸 第2巻：小腸・大腸	竹本忠良 長廻 紘	編 文光堂	6,500 円 6,500 円
4. 外科病理学 第4版	向井 清 真鍋俊明 深山正久	編 文光堂	40,000 円
5. 内科学書（全2冊）	島田 馨	編 中山書店	25,000 円

4. 成績評価の方法・基準

試験は筆答試験と病理実習試験をもって行う。筆答試験は病理、内科、外科がそれぞれの担当時間数に応じて配分された点数をもって出題する。各科目の総点を1000点とし、最終的に100点として評価を行う。

5. 教員名

原研病理：中島、三浦
消化器内科：中尾、竹島、市川、大仁田、田浦、塩澤、柴田、赤澤、松島
光学医療診療部：磯本、山口
第一外科：七島、阿保
第二外科：金高、藤田
非常勤講師：水田陽平、八橋 弘、宿輪三郎

6. 備考（準備学習等）

出欠チェックは1コマ毎に行う。出欠状況は成績に反映する。

消化器系授業予定（４年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	火	3	上部消化管－構造機能	食道・胃	光学 磯本	第4
			4	上部消化管－症候	腹痛など	消内 松島	
4	6	金	4	食道疾患	先天異常、憩室、炎症、腫瘍性疾患など	光学 磯本	第4
4	10	火	3	胃・十二指腸疾患	胃炎、潰瘍など	光学 磯本	第4
			4		胃癌など		
4	13	金	4	消化管ホルモン	消化管ホルモン	消内 竹島	第4
4	17	火	3	下部消化管－構造・機能	小腸、大腸、先天性異常など	消内 竹島	第4
			4	下部消化管－症候論、機能性疾患	下血、便通異常、脂肪便、過敏性腸症候群など		
4	20	金	4	大腸疾患（腫瘍）	ポリープ、ポリポースなど	光学 山口	第4
4	24	火	3	大腸疾患（腫瘍）	癌、カルチノイド腫瘍など	光学 山口	第4
			4	小腸疾患	小腸疾患、吸収不良症候群、蛋白漏出性胃腸症	消内 赤澤	
4	27	金	4	消化管の内視鏡検査と治療	（特別講義）	宮崎病院 宿輪	第4
5	1	火	3	大腸疾患（炎症）	炎症性腸疾患（IBD）、虚血性腸炎、腸型ペーチェット病など	消内 竹島	第4
			4		感染症腸疾患、憩室、放射線照射性腸炎、MPSなど		
5	8	火	3	癌取り扱い規約	食道・胃	原病 三浦	第4
			4		大腸		
5	11	金	3	全身性疾患と消化管	膠原病、アミロイドーシス、血液疾患など	光学 磯本	第4
5	15	火	3	消化管（外科的疾患）	概念と疾患群など	外2 金高	第4
			4	食道・胃・十二指腸手術術式	食道損傷など 食道		
5	18	金	4	食道・胃・十二指腸手術術式	胃・十二指腸	外2 金高	第4
5	25	金	4	肝	栄養	消内 市川	第4
5	29	火	3	腸管外科的疾患	小腸・大腸 先天異常	外2 藤田	第4
			4	腹壁疾患 直腸・肛門の疾患	外傷など		
6	1	金	4	肝	正常組織・生理機能	消内 中尾	第4

消化器系授業予定（４年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	5	火	3	肝	先天異常	消内・中尾	第4
			4		病態生理		
6	8	金	4	病理の要点	肝胆膵	原病・中島	第4
6	12	火	3	肝	検査（肝機能・肝炎ウイルス・自己抗体・腫瘍マーカー）	消内 田浦	第4
			4		兆候	消内 田浦	
6	15	金	4	外科的疾患	胆道系	外1 阿保	第4
6	19	火	3	肝	急性肝炎（特別講義）	長崎医療センター 八橋	第4
			4		慢性肝炎（特別講義）		
6	20	水	3	肝	自己免疫性肝疾患	消内 市川	第4
6	22	金	4	肝	肝不全	消内 市川	第4
6	26	火	3	肝	肝硬変	消内 柴田	第4
			4		肝癌	消内 柴田	
6	27	水	3	肝	良性腫瘍・膿瘍・寄生虫	消内 田浦	第4
6	29	金	4	膵	内分泌腫瘍	外1 阿保	第4
7	3	火	3	主要症候と検査－胆膵疾患	（特別講義）	女の都病院 水田	第4
			4	膵	膵炎など	消内 大仁田	
7	4	水	3	胆道疾患	炎症・結石	消内 大仁田	第4
7	6	金	4	胆道疾患	胆道癌、膵癌など	消内 大仁田	第4
7	10	火	3	外科的疾患	膵臓の手術術式など	外1 七島	第4
			4		肝	外1 七島	
7	13	金	4	外科的疾患	肝・胆道系	外1 七島	第4
7	20	金	4	消化器疾患	消化器癌の化学療法	消内 塩澤	第4

腎 泌 尿 器 系

責任者	氏 名	酒井英樹	内 線	7340
	教 室	腎泌尿器病態学（泌尿器科学）	e-mail	hsakai@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:00～17:00（火曜日）泌尿器科医局		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Nephro-urology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：小児から高齢者まで、すべての年齢層を対象にした腎・尿路系疾患の病態、診断および治療を理解する。

方法：生理学、腎臓内科学、小児科学、泌尿器科学の各分野が分担して講義を行う。

到達目標：1) 腎・泌尿器の構造と機能を理解し、異常所見を識別できる一特に腎の生理と排尿の生理を理解することが重要である。2) 腎・泌尿器系疾患の主要症候を理解し、鑑別疾患を挙げることができる。3) 腎・泌尿器系の検査法を理解し、診断へ応用できる。4) 各疾患の治療法を概説できる。また、小児と成人の差違、内科的あるいは外科的治療の差違について説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

まず、体液の恒常性維持における腎の機能について学び、次に腎・泌尿器系疾患の病態、症候、検査、診断および治療について系統的に講義する。この系で学ぶ主要な疾患は、腎不全、糸球体疾患、ネフローゼ症候群、尿細管間質病変、高血圧・腎血管病変、全身性疾患に合併した腎病変、小児の腎疾患、外科的処置や手術を必要とする腎・尿路系疾患（腫瘍、結石、外傷）、排尿障害および尿路感染症などである。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
エッセンシャル腎臓内科学	富野康日己 編	医歯薬出版	5,000 円
ダイナミックメディシン6巻	下条文武・斉藤康	西村書店	3,800 円
講義録 泌尿器科学	荒井陽一 小川 修 編	メジカルビュー	6,000 円
Smith's General Urology	Emil Tanagho	Lange	8,000 円
Renal disease:classification and atlas of glomerular disease.	Churg/Bernstain/ Glassock	IGAKU/SHOIN	23,900 円
小児腎疾患の臨床 改訂第4版	五十嵐隆 著	診断と治療社	6,090円
図解腎臓内科学テキスト	富野康日己 編	中外医学社	7,600円

4. 成績評価の方法・基準

前期末に筆記試験を行う。各分野の配点は生理5点、小児科10点、腎臓内科40点、泌尿器科45点とし、合計60点以上を合格とする。

5. 教員名

内臓機能生理学（第1生理）：松本逸郎
 病態生理制御学（第2内科）：西野友哉、新井英之、原田孝司（非常勤講師）
 血液浄化療法部：錦戸雅春、浦松 正
 感染病態制御学（小児科）：森内浩幸、白川利彦
 腎泌尿器病態学（泌尿器科）：酒井英樹、井川 掌

6. 備考（準備学習等）

腎・尿路系の解剖、生理、病理学について復習しておくこと。

腎泌尿器系授業予定（４年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	火	1	腎・泌尿器系	腎・泌尿器系 イントロダクション	泌尿器科・酒井	第4
			2	腎臓と体液	腎臓の構造と生理機能 (酸・塩基平衡を含む)	生理1・松本	
4	10	火	1	内科的腎疾患	臨床総論；腎疾患の主要症候	非常勤・原田	第4
			2		腎間質障害・循環障害・感染	内科2・西野	
4	17	火	1	内科的腎疾患	糸球体腎炎	内科2・西野	第4
			2		糸球体腎炎		
4	24	火	1	内科的腎疾患	ネフローゼ症候群（含2次性腎症）	内科2・西野	第4
			2		ネフローゼ症候群（含2次性腎症）		
5	1	火	1	内科的腎疾患	腎不全	非常勤・原田	第4
			2		腎不全		
5	8	火	1	内科的腎疾患	腎疾患のとらえかた（検尿異常）	内科2・新井	第4
			2		腎疾患のとらえかた（腎機能障害）		
5	15	火	1	内科的腎疾患	腎疾患のとらえかた（恒常性の破綻）	血液浄化・浦松	第4
			2	泌尿器科疾患	泌尿器科学総論：解剖・生理	泌尿器科・井川	
5	29	火	1	小児の腎疾患	先天性腎疾患、先天性尿細管疾患	小児科・森内（白川）	第4
			2		腎尿路奇形、後天性腎疾患、腎不全		
6	5	火	1	泌尿器科疾患	泌尿器科学総論：症候・検査法	泌尿器科・井川	第4
			2		尿路性器外傷		
6	12	火	1	泌尿器科疾患	腎腫瘍、腎血管性病変	血液浄化・錦戸	第4
			2		腎不全、腎移植、腎不全外科		
6	19	火	1	泌尿器科疾患	膀胱疾患、尿路上皮腫瘍	泌尿器科・井川	第4
			2		尿路結石		
6	26	火	1	泌尿器科疾患	排尿機能障害	泌尿器科・井川	第4
			2		性機能障害		
7	3	火	1	泌尿器科疾患	小児泌尿器疾患	泌尿器科・酒井	第4
			2		炎症性疾患		

生 殖 系

責任者	氏 名	増 崎 英 明	内 線	7361
	教 室	産科婦人科学	e-mail	bunbuku@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金 17:00～17:30		

対象年次・学期	4 年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Reproductive Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

(ねらい) 男女の生殖器の解剖、生理および病理について系統的に理解するのがねらいである。

(到達目標) 男性生殖器、女性生殖器の解剖、発生およびその異常について説明できる。男性不妊症や主な男性生殖器疾患について説明できる。女性の性周期、妊娠成立のしくみ、不妊症および不育症について説明できる。正常妊娠・胎児・分娩の経過およびその異常としてのハイリスク妊娠・分娩について説明できる。主な女性生殖器疾患について説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義時間は6 1. 5時間（4 1コマ）であり、その内訳は、第三解剖1. 5時間（1コマ）、泌尿器科4. 5時間（3コマ）および産婦人科5 5. 5時間（3 7コマ）である。

3. 教科書、参考書等

	著 者	出版社	定 価
ムーア人体発生学	Moore, Persaud	医歯薬出版	9,500 円
新泌尿器科学	内藤誠二	南山堂	8,700 円
標準産科婦人科学	岡井 崇 他編	医学書院	8,610 円
臨床産科超音波診断 改訂2版	増崎英明	メディカ出版	7,800 円

4. 成績評価の方法・基準

出席点および筆記試験により評価する。筆記試験問題は担当教員が分担して作成する。原則として60%以上の得点をもって合格とする。

5. 教員名

第三解剖 : 小路武彦

泌尿器科 : 酒井英樹

産婦人科 : 増崎英明、三浦清徳、松脇隆博、井上統夫、平木宏一、吉田 敦
北島道夫、山崎健太郎、カーンカレク、長谷川ゆり、松本亜由美
築山尚文、河野通春

保健学科 : 中島久良

非常勤講師 : 石丸忠之 (佐世保中央病院)

檜原久司 (大分大学)

安日一郎 (長崎医療センター)

中山大介 (済生会長崎病院)

森山伸吾 (島原マタニティ病院)

村上 誠 (佐世保市立総合病院)

片渕秀隆 (熊本大学)

藤下 晃 (済生会長崎病院)

小寺宏平 (長崎市立市民病院)

江口二郎 (佐世保共済病院)

6. 備考（準備学習等）

とくになし。

生殖系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	4	水	1	性分化と性器の発生	性器の発生、性分化異常	解剖3・小路	第4
			2	男性生殖器の疾患 (1)	前立腺癌／前立腺肥大症	泌尿器科・酒井	
4	6	金	3	イントロダクション	産婦人科学について	産婦人科・増崎	第4
4	11	水	1	女性性器の構造	女性性器の構造／産婦人科診察	非常勤・藤下	第4
			2	女性の性機能	性機能系のホルモン／視床下部-下垂体-卵巢系 ／性器の周期的変化	産婦人科・松脇	
4	13	金	3	男性生殖器の疾患 (2)	精巣腫瘍／陰茎腫瘍	泌尿器科・酒井	第4
4	18	水	1	女性性器の異常	形態異常／位置異常／損傷と瘻	非常勤・藤下	第4
			2	外陰・膣の疾患(1)	外陰癌／膣癌	非常勤・村上	
4	20	金	3	外陰・膣の疾患(2)	外陰・膣の炎症／性感染症／骨盤内炎症性疾患 (PID)	産婦人科・カーン	第4
4	25	水	1	子宮の疾患 (1)	子宮筋腫／子宮内膜症／子宮腺筋症	産婦人科・カーン	第4
			2	子宮の疾患 (2)	子宮頸管ポリープ／子宮頸部異形成／子宮頸癌	保健学科・中島	
4	27	金	3	子宮の疾患 (3)	子宮内膜ポリープ／子宮内膜増殖症／子宮体癌 (子宮内膜癌)／子宮肉腫	非常勤・小寺	第4
5	2	水	1	卵巢・卵管の疾患 (1)	卵巢腫瘍・類腫瘍病変	産婦人科・北島	第4
			4	ホルモン療法	ホルモン療法／避妊一学校では教えてくれない ピルの効用	産婦人科・井上	
5	9	水	1	婦人科手術	エキスパートが教える婦人科手術の種類とその 特徴	産婦人科・松本	第4
			2	婦人科の病理	細胞診・組織診	非常勤・森山	
5	11	金	4	加齢と疾患	更年期障害／老年期障害	非常勤・石丸	第4
5	16	水	1	不妊(1)	性分化異常／男性不妊症	非常勤・江口	第4
			2	不妊(2)	不妊症一生殖補助技術の光と陰	産婦人科・井上	
5	18	金	3	妊娠の生理 (1)	生命のはじまりー受精と着床／胚形成と胎盤形 成	産婦人科・北島	第4
5	25	金	3	卵巢・卵管の疾患 (2)	卵巢癌・卵管癌	非常勤・小寺	第4
5	30	水	1	月経	月経周期・排卵の調節機構	非常勤・檜原	第4
			2	妊娠の生理 (2)	胎児の発育／胎児-胎盤系の生理／妊娠による 母体の変化	非常勤・安日	
6	1	金	3	正常分娩 (1)	分娩の概念／陣痛初来機序／分娩の3要素／分 娩機転	産婦人科・河野	第4

生殖系授業予定（４年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	6	水	1	正常分娩（2）	正常分娩の経過と管理／産褥期／新生児	産婦人科・河野	第4
			2	難産	陣痛の異常／児頭骨盤不均衡（CPD）／胎位・胎向・胎勢の異常	産婦人科・松脇	
6	8	金	3	先天異常	先天異常／遺伝／出生前診断／胎児治療	非常勤・中山	第4
6	13	水	1	胎児機能不全	胎児心拍数陣痛図（CTG）の読み方	非常勤・安日	第4
			2	産科処置	産科手術／分娩誘発・促進／産科麻酔	産婦人科・松本	
6	15	金	3	妊娠の異常（1）	妊娠悪阻／流産／不育症／子宮外妊娠	非常勤・藤下	第4
6	20	水	1	妊娠の異常（2）	胎児発育遅延（IUGR）	産婦人科・山崎	第4
			2	妊娠の異常（3）	産科出血／産科ショックとDICー産科救急の対処法	産婦人科・吉田	
6	22	金	3	妊娠の異常（4）	多胎妊娠	産婦人科・三浦	第4
6	27	水	1	妊娠の異常（5）	妊娠中の高血圧	産婦人科・吉田	第4
			2	妊娠の異常（6）	早産と前期破水	産婦人科・築山	
6	29	金	3	妊娠の異常（7）	羊水過多症／羊水過少症／胎盤・臍帯の異常	産婦人科・長谷川	第4
7	4	水	1	妊娠の異常（8）	妊娠と感染／周産期感染症	産婦人科・三浦	第4
			2	妊娠の異常（9）	絨毛性疾患	非常勤・森山	
7	6	金	3	婦人科腫瘍の病因学	ノーベル生理医学賞と子宮頸癌予防HPVワクチン	非常勤・片渕	第4
7	13	金	3	合併症妊娠（1）	内分泌・代謝／自己免疫／精神神経疾患	産婦人科・長谷川	第4
7	20	金	3	合併症妊娠（2）	婦人科／心血管／血液／腎・泌尿器／消化器／呼吸器疾患	非常勤・中山	第4

視 覚 系

責任者	氏 名	北 岡 隆	内 線	7344
	教 室	眼科学（眼科・視覚科学）	e-mail	tkitaoka@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	水曜日 18:00-19:00 眼科医局		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Ophthalmology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

外界からの情報の80%以上は視覚を通して入力される。この視覚を得るための眼球他の構造と機能を学習し、さらにその視覚を脅かす疾患について理解させる。また眼科独自の検査についても学習する。

医師として必要な眼科領域の知識・技能の習得および全身疾患と眼の関連について十分な学習をすることを目標とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

基礎医学の知識を駆使して、眼科学を体系づけ、他臓器疾患との関連性をも理解させる。思考過程を重視し、考える講義にする。実習では講義で学んだ事項を身をもって体験させ、単なる知識の修得に終わらせないようにする。スライドおよび実際の眼科診療機材を提示し、視覚的アプローチを重視した講義を行う。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
Vaughan & Asbury's General Ophthalmology. (General Ophthalmology) 16th Ed.	Paul Riordan-Eva Jhon P., M.D. Whit cher	McGraw-Hill Medical Publishing	約 8,500円
Clinical Ophthalmology: A Systematic Approach (Clinical Ophthalmology) 6Har/Pas版	Jack J. Kanski	Butterworth-Heinemann Medical	約 36,000円
標準眼科学 第10版	大野重昭（編）	医学書院	約 7,350円
現代の眼科学 改訂第9版	所 敬（編） 吉田 晃敏（編）	金原出版	約 9,600円

4. 成績評価の方法・基準

試験80%、出席20%で評価し、60点以上を合格とする。

5. 教員名

眼 科 学：北岡 隆、鈴間 潔、隈上武志、藤川亜月茶、上松聖典、築城英子
非常勤講師：山之内宏一（思案橋ツダ眼科）、嵩 義則（ダケ眼科）、
今村直樹（南長崎ツダ眼科）、三島一晃（三島眼科）

6. 備考（準備学習等）

第一回目の講義には、眼球および付属器に関して、高校レベルの生物の知識をもって授業に臨むこと。

視覚系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	11	月	1	眼科総論	眼の構造・機能	眼科・北岡	第4
			2	眼科総論	眼科検査Ⅰ	眼科・北岡	
6	18	月	1	眼科総論	眼科検査Ⅱ	眼科・北岡	第4
			2	眼科総論	眼科症候学	眼科・藤川	
6	25	月	1	発生	発生・奇形	眼科・上松	第4
			2	発達・眼位	斜視・弱視	眼科・上松	
6	28	木	1	前眼部	眼瞼・結膜・涙道	眼科・隈上	第4
			2	救急	眼科救急と外傷	眼科・鈴間	
7	2	月	1	リハビリテーション	ロービジョンケア	非常勤・山之内	第4
			2	緑内障	緑内障Ⅰ	非常勤・嵩	
			3	前眼部	角膜・涙液	非常勤・今村	
			4	遺伝	全身疾患・遺伝と眼疾患	眼科・上松	
7	5	木	1	緑内障	緑内障Ⅱ	眼科・隈上	第4
			2	網膜	網膜疾患Ⅰ	眼科・鈴間	
7	9	月	1	眼窩・神経眼科	眼窩疾患	非常勤・三島	第4
			2	網膜	網膜疾患Ⅱ	眼科・築城	
			3	眼底	網膜循環障害	眼科・築城	
			4	眼底	黄斑疾患	眼科・築城	
7	12	木	1	中間透光体	水晶体	眼科・藤川	第4
			2	ぶどう膜	ぶどう膜炎	眼科・藤川	
7	19	木	1	全身疾患と眼	糖尿病網膜症	眼科・鈴間	第4
			2	神経眼科	神経眼科	眼科・隈上	

耳 鼻 咽 喉 口 腔 系

責 任 者	氏 名	高 橋 晴 雄	内 線	7349
	教 室	耳鼻咽喉・頭頸部外科学（展 開医療科学講座）	e-mail	htak0831@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	19時30分		

対象年次・学期	4 年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

感覚器を中心とした耳鼻咽喉科・頭頸部外科学領域の基礎を学び、検査、診断、治療法を理解し、検査法については実習し修得する。また救急処置の基本を学び、併せて全身ないしは環境と耳鼻咽喉科領域の関連について学習をする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義は4年次前期より始まる。耳科学、聴覚学、平衡神経学、鼻科学、口腔・咽頭科学、喉頭科学、頭頸部外科学、救急医学に分類される。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
新耳鼻咽喉科学	切替一郎、野村恭也	南山堂	16,800円
New 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	喜多村健、森山 寛	南江堂	6,615円
標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	鈴木淳一 他	医学書院	8,400円

4. 成績評価の方法・基準

講義内容については筆記試験にて60点以上を合格とする。
実習は出欠をとり、出席状況が卒業試験の採点に反映される。

5. 教員名

耳鼻咽喉科：高橋晴雄、隈上秀高、金子賢一、石丸幸太朗、高野 篤、
福田智美、桂資泰、穂山直太郎
非常勤講師：湯本英二、重野浩一郎、吉見龍一郎、神田幸彦、高崎賢治、
石飛進吾

6. 備考（準備学習等）

解剖・生理を復習しておく。

耳鼻咽喉口腔系授業予定（４年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	5	木	1	耳科学	聴器の解剖・生理	耳鼻科・高橋	第4
			2		中耳の疾患	耳鼻科・福田	
4	12	木	1	耳科学	顔面神経	耳鼻科・福田	第4
			2	聴覚学	聴力検査	耳鼻科・穂山	
4	19	木	1	耳科学	補聴器と先天性難聴	非常勤・神田	第4
			2		人工内耳	耳鼻科・高橋	
4	26	木	1	耳科学	中耳の手術	耳鼻科・高橋	第4
			2	鼻科学	鼻・副鼻腔の解剖と生理	耳鼻科・高野	
5	10	木	1	鼻科学	アレルギー性鼻炎	非常勤・吉見	第4
			2		鼻・副鼻腔疾患各論	耳鼻科・高野	
5	17	木	1	平衡神経学	めまいの診断・平衡機能検査	非常勤・重野	第4
			2		めまい総論	耳鼻科・隈上	
5	24	木	1	平衡神経学	めまい疾患各論	耳鼻科・隈上	第4
			2	頭頸部外科学	側頭骨・頭蓋底（1）	耳鼻科・隈上	
5	31	木	1	頭頸部外科学	側頭骨・頭蓋底（2）	耳鼻科・石丸	第4
			2		頭頸部癌（1）	耳鼻科・石丸	
6	7	木	1	口腔・咽頭科学	嚥下の生理と障害	非常勤・高崎	第4
			2		口腔ケアと嚥下性肺炎	特殊歯科・石飛	
6	14	木	1	喉頭科学	喉頭疾患・音声外科	非常勤・湯本	第4
			2	喉頭科学、救急医学	喉頭の解剖と生理 異物・気管切開	耳鼻科・金子	
6	21	木	1	頭頸部外科学	頭頸部癌（2）	耳鼻科・金子	第4
			2	口腔・咽頭科学	口腔・咽頭の解剖・生理と疾患	耳鼻科・桂	

免疫・アレルギー疾患系

責任者	氏 名	川上 純	内 線	7261
	教 室	内科学第一	e-mail	atsushik@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日の午後		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Immunology and Allergy		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

免疫・アレルギー疾患、特にリウマチ・膠原病の病態・診断・治療について講義する。リウマチ・膠原病の分野は病態解析、診断技術、治療法の進歩が著しい分野である。これら疾患群の共通所見、疾患特異的所見および病態に応じた治療法の選択などを学んでほしい。内容は各疾患を講義した後に、これら疾患群の理解に重要な臓器病変や治療のまとめおよび最近のトピックスも授業する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義主体（スライドとシラバス）

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版者	定価
シラバス	講義担当者		
膠原病・リウマチ診療	東京女子医科大学附属 膠原病リウマチ痛風センター	MEDICAL VIEW	9500 円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験の点数 60%以上で合格とする。

5. 教員名

第一内科 : 川上 純、中村英樹
 保健学科 : 折口智樹
 第二内科 : 西野友哉、角川智之
 皮膚科 : 富田 元
 非常勤講師: 福田孝昭（久留米大学医学部教授）
 河部庸次郎（国立病院機構嬉野医療センター）
 右田清志（国立病院機構長崎医療センター）

6. 備考（準備学習等）

シラバスに目を通しておくこと。

免疫・アレルギー疾患系講義予定（４年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	金	2	総論1	自己免疫、リウマチ性疾患総論	第一内科：川上	第4
4	13	金	2	総論2	リウマチ膠原病の主要徴候、臨床検査	非常勤講師：右田	第4
4	20	金	2	各論1	強皮症、シェーグレン症候群	非常勤講師：河部	第4
4	27	金	2	リウマチ性疾患の腎病変	リウマチ性疾患と腎	第二内科：西野	第4
5	11	金	2	各論2	多発性筋炎／皮膚筋炎 混合性結合組織病	第一内科：川上	第4
5	18	金	2	各論3	関節リウマチの病態	非常勤講師：福田	第4
5	25	金	2	各論4	関節リウマチの治療 成人発症スティル病	保健学科：折口	第4
6	1	金	2	各論5	全身性エリテマトーデス	第一内科：川上	第4
6	8	金	2	各論6	その他のリウマチ性疾患、類縁疾患	第一内科：中村	第4
6	15	金	2	各論7	血清反応陰性脊椎関節症 ベーチェット病	非常勤講師：右田	第4
6	22	金	2	各論8	血管炎症候群	保健学科：折口	第4
6	29	金	2	膠原病の皮膚症状	膠原病の皮膚症状	皮膚科：富田	第4
7	6	金	2	リウマチ性疾患の治療	リウマチ性疾患の治療	第一内科：中村	第4
7	13	金	2	リウマチ性疾患の肺病変	リウマチ性疾患と肺	第二内科：角川	第4
7	20	金	2	リウマチ性疾患の病因	診断、治療、病態：最近のトピックス	第一内科：川上	第4

社 会 医 学

責任者	氏 名	青 柳 潔	内 線	7065
	教 室	公衆衛生学 (公衆衛生学)	e-mail	kiyoshi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月・火・水の12:00-13:00		

対象年次・学期	4年・前後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	5
英語名	Medical Care & Public Health		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：この科目は衛生学及び公衆衛生学を主体とした社会医学に関する教育を体系化したものである。人間が生物的・社会的存在であるとの理解の上に、その健康擁護（Health Care）を図るのが社会医学の基本的立場である。本科目の講義・実習を通じて人々の健康像・疾病像が生活環境や保健医療システムに大きく関わっていること、および地域あるいは職域の保健医療等について学ぶ。

到達目標：社会・環境と健康、疫学と予防医学、生活習慣と疾病、保健・医療・福祉と介護の制度、診療情報、臨床研究と医療を説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義及び実習を行う。講義は4年前後期に行われる。実習は5年期の臨床実習期間内に離島において行う。

3. 教科書

特に指定しない。必要に応じプリントを配布する。

4. 参考書

書 名	著 者	出 版 社
- シンプル衛生公衆衛生学 - 臨床疫学 - EBM実践のための必須知識. - 厚生指針「国民衛生の動向」	鈴木庄亮、久道茂監修 福井次矢 監訳 厚生統計協会	南江堂 メディカルサイエンス・インターナショナル,

5. 成績評価の方法・基準

4年後期試験期間に筆答試験を行う。60点以上を講義分の合格とする。

6. 教員名

公衆衛生学：青柳潔、安部恵代、有馬和彦
 法医：池松和哉
 原研：高村昇
 精神病態制御学：今村明
 感染・分子疫学：中込治
 感染・分子：佐藤克也
 救急部：田崎修、長谷敦子
 薬剤部：佐々木均
 医療情報部：本多正幸、松本武浩
 離島・へき地医療学：前田隆浩
 へき地病院再生支援・教育機構：調漸
 保健学：本田純久
 非常勤講師：草野洋介、和泉喬、今井秀樹

7. 備考（準備学習等）

授業項目について教科書を読んでおくこと。

社会医学授業予定（４年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	5	木	3	保健・医療・福祉	健康と社会環境、障害と社会	公衆衛生・青柳	第4
4	12	木	3	保健・医療・福祉	公衆衛生と予防医学	公衆衛生・青柳	第4
4	19	木	3	保健・医療・福祉	プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション	公衆衛生・青柳	第4
4	26	木	3	保健・医療・福祉	医療法、医療計画・へき地医療	公衆衛生・青柳	第4
5	10	木	3	保健・医療・福祉	医療保険・公費医療・医療経済	公衆衛生・青柳	第4
5	17	木	3	国際保健	保健問題	原研・高村	第4
5	24	木	3	国際保健	保健協力	原研・高村	第4
5	31	木	3	健康保持・増進	健康日本21、健康増進法	公衆衛生・安部	第4
6	7	木	3	健康保持・増進	生活習慣病と保健	公衆衛生・安部	第4
6	14	木	3	疫学	序論、疫学指標	保健学・本田	第4
6	21	木	3	疫学	標本抽出、研究デザイン、比較の指標	保健学・本田	第4
6	28	木	3	疫学	Evidence Based Medicine (EBM)	保健学・本田	第4
7	5	木	3	衛生統計	人口統計	保健学・本田	第4
7	12	木	3	衛生統計	要因別死亡の状況、疾病・障害統計	保健学・本田	第4
7	19	木	3	感染症	食中毒・食品衛生法・食品安全基本法	感染・分子疫学・中込	第4

社会医学授業予定（４年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	24	月	1	保健・医療・福祉	老人の現状	非常勤・草野	第４
			2	保健・医療・福祉	老人保健・福祉、介護保険	非常勤・草野	
10	1	月	1	産業保健	労働衛生行政	公衆衛生・青柳	第４
			2	産業保健	労災法、労災の疫学	公衆衛生・青柳	
10	15	月	1	中毒・物理的要因	農薬中毒・自然毒・急性アルコール中毒	救急部・田崎	第４
			2	中毒・物理的要因	中毒治療	救急部・長谷	
10	22	月	1	中毒・物理的要因	重金属中毒	公衆衛生・有馬	第４
			2	中毒・物理的要因	薬物中毒	薬剤部・佐々木	
10	29	月	1	中毒・物理的要因	ガス中毒・酸欠、有機溶剤・化学物質中毒	非常勤・和泉	第４
			2	中毒・物理的要因	騒音と振動、異常気圧・気温	公衆衛生・安部	
11	5	月	1	公衆栄養学	国民栄養	非常勤・草野	第４
			2	公衆栄養学	国民栄養	非常勤・草野	
11	12	月	1	産業保健	職業癌、頸肩腕障害、腰痛、VDT	公衆衛生・安部	第４
			2	医事法制（１）	医事法制概論１	法医・池松	
11	16	金	1	創立記念講演会			第４
			2				
11	19	月	1	地域保健	へき地医療	へき地病院再生支援・教育機構・調	第４
			2	医事法制（２）	医事法制概論２	法医・池松	
11	26	月	1	地域保健	学校保健	公衆衛生・有馬	第４
			2	医事法制（３）	死亡診断書（死体検案書）の書き方	法医・池松	
12	3	月	1	地域保健	地域保健法	公衆衛生・安部	第４
			2	地域保健	老人保健・高齢者医療確保法	公衆衛生・安部	

社会医学授業予定（４年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
12	4	火	1	診療情報	情報管理	医療情報・本多	第4
			2	診療情報	プライバシー、診療録	医療情報・松本	
12	10	月	1	感染症	感染症法、予防接種法	感染・分子・佐藤	第4
			2	社会保障	難病対策	感染・分子・佐藤	
12	11	火	1	地域保健	母子保健Ⅰ	公衆衛生・有馬	第4
			2	地域保健	母子保健Ⅱ	公衆衛生・有馬	
12	17	月	1	地域保健	離島医療	離島・へき地医療学・前田	第4
			2	保健・医療・福祉	保健・医療・福祉施設・従事者	公衆衛生・安部	
12	18	火	1	地域保健	精神保健	精神科・今村	第4
			2	地域保健	精神保健	精神科・今村	
12	25	火	1	保健・医療・福祉	保健・医療・福祉の連携	公衆衛生・青柳	第4
			2	社会保障	社会保障制度	公衆衛生・青柳	
1	7	月	1	臨床研究と医療	倫理指針、副作用報告	公衆衛生・有馬	第4
			2	臨床研究と医療	臨床試験・治験	公衆衛生・有馬	
1	8	火	1	生活環境保健	環境保全、公害、廃棄物処理	非常勤・今井	第4
			2	生活環境保健	内分泌攪乱物質・環境モニタリング	非常勤・今井	

皮膚系

責任者	氏名	宇谷 厚志	内線	7331
	教室	皮膚科学（皮膚病態学）	e-mail	utani@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	9:00～17:00 必ず事前にアポイントを取ること		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Dermatology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

皮膚病変は実際に目で見る事が出来る病変であり、生検も容易に行える点が特異といえる。しかし皮膚病変の原因は無数にあり、診断名も煩雑であることが理解されにくい一因であろう。この系では、臨床医に必要な皮膚疾患の概説を行うが、単なる暗記ではなく、皮膚の構造と状態を理解し、病変を見た場合の診断の仕方を、(1)皮疹の見方、(2)病理所見、(3)病因、(4)病態などを把握しながら学んでほしい。

また、「皮膚は内臓の鏡」ともいわれ、思わぬ内臓疾患が判明することもある。皮膚病変の位置づけを全身疾患との関連性の面でも理解してほしい。

到達目標としては、発疹学が説明できるようになり、多彩な皮膚病変を分類することが出来、その症状、発生病理を説明できることである。

2. 授業内容（講義・実習項目）

全20時間の講義は、皮膚科15、形成外科4、病理1からなる。講義は皮膚の解剖、生理、病理、診断に始まり、皮膚科からは各種皮膚疾患の講義を、形成外科より形態異常、熱傷、瘢痕及びケロイド、皮膚潰瘍などの講義を行い、皮膚と内臓病変、治療をもって終了とする。詳細は講義日程を参照のこと。

3. 教科書、参考書等

皮膚科、病理：要点を記載したプリントを配布するが、全てはカバーできないため、参考書はぜひ一冊持ってほしい。

書名	著者	出版社	定価
あたらしい皮膚科学	清水 宏 著	中山書店	7,980 円
皮膚科学	大塚藤男著、上野賢一 原著	金芳堂	12,600 円

形成外科：プリント配布予定

書名	著者	出版社	定価
標準形成外科学 第5版	秦 維郎・野崎幹弘 編集	医学書院	7,140 円
TEXT形成外科 第2版	波利井清紀 監修	南山堂	9,064 円

4. 成績評価の方法・基準

講義終了後に筆記試験を行う。各科の時間数に応じて配点を割り当て、総計100点として評価する。60点以上を合格とするが、60点以上であっても各分野での得点が40点に満たない時は不合格となることもある。また、評価には出席率も考慮する。

5. 教員名

皮膚科：宇谷厚志、清水和宏、竹中 基、小川文秀、富村沙織、鵜塚 大
 形成外科：平野明喜、田中克己、秋田定伯、吉本 浩
 第2病理/臨床病態病理学：安倍邦子
 非常勤：宿輪哲生（国病長崎医療センター）

6. 備考（準備学習等）

上記参考資料で、当該部分を一読しておくこと。

皮膚系授業予定（４年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	25	火	3	皮膚科概括講義	総論１：皮膚の構造と機能、湿疹・蕁麻疹	皮膚科・宇谷	第４
			4	皮膚科概括講義	総論２：皮膚病理組織学	病理部/臨床病態病理学・安倍	
10	2	火	3	形成外科概論、組織移植	形成概論、組織移植、人工医用材料	形成外科・平野	第４
			4	皮膚科概括講義	各論１：紅斑・血管炎・膠原病	皮膚科・宇谷	
10	9	火	3	皮膚科概括講義	各論２：紫外線皮膚障害	皮膚科・宇谷	第４
			4	特論１	毛髪・爪の異常、汗腺性疾患、脂腺系疾患	非常勤・宿輪	
10	16	火	3	特論２	細菌・真菌による皮膚感染症、虫などによる皮膚炎	皮膚科・竹中	第４
			4	皮膚科概括講義	各論３：角化症など	皮膚科・宇谷	
10	23	火	3	物理的皮膚損傷	熱傷・化学損傷	形成外科・吉本	第４
			4	皮膚科概括講義	各論４：ウイルス感染症など	皮膚科・宇谷	
10	30	火	3	創傷治癒、瘢痕・ケロイド、慢性創傷	創傷治癒、瘢痕・ケロイド、褥瘡・難治性潰瘍	形成外科・秋田	第４
			4	特論３	真皮結合組織異常	皮膚科・宇谷	
11	6	火	3	皮膚形成の基礎	皮膚縫合法、植皮・各種皮弁、Z形成術	形成外科・田中	第４
			4	皮膚科概括講義	各論５：肉芽腫症・アミロイドーシス	皮膚科・宇谷	
11	13	火	3	皮膚科概括講義	各論６；水疱症・膿疱症	皮膚科・富村	第４
			4	特論４	母斑・色素異常症	皮膚科・鋤塚	
11	20	火	3	特論５	薬疹	皮膚科・竹中	第４
			4	特論６	皮膚科治療法	皮膚科・清水	
11	27	火	3	特論７	皮膚良性悪性腫瘍（メラノーマを含む）	皮膚科・小川	第４
			4	特論８	皮膚リンパ腫及び関連疾患	皮膚科・清水	

精 神 系

責任者	氏 名	小 澤 寛 樹	内 線	7293
	教 室	精神神経学（精神神経科学）	e-mail	ozawa07@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	水曜日・12:00-13:00		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Neuropsychiatry		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：精神と行動の障害として表現される精神疾患の症候、病態生理、成因とそれに対応する治療とケアについて理解する。精神疾患（精神障害）を、分子レベルから、神経系・内分泌系・免疫系・循環系が交錯する脳、個体、家族、社会、文化、倫理などの多次元の病理が個人の精神と行動の障害として現れたものとして理解し説明するために自主性を持って学習する。さらに、精神疾患に対する治療とケアを通して、多様な思考力や想像力を養う。

到達目標：精神疾患に罹患した人々の内的苦悩を実感できる。
精神疾患の病態と成因、治療・ケアの基本的な理解ができる。
こころと行動の理解を目指す諸科学のめざましい発展の実状を理解する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

精神障害の成り立ちや治療を理解する上での精神医学全般に関する知識の提供。精神医学分野でのbio-psycho-social-ethicalといった多軸的な観点を養う。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
標準精神医学	野村総一郎、樋口輝彦	医学書院	6,500円
現代臨床精神医学	大熊輝雄	金原出版	7,500円
精神医学	大月三郎	文光堂	7,200円
精神疾患 100の仮説	石郷岡純	星和書店	4,725円

4. 成績評価の方法・基準

定期考査（筆記試験）80%、レポート20%などの他出席状況も評価に含める。

5. 教員名

精神神経科：小澤寛樹、今村 明、黒滝直弘、木下裕久

非常勤講師：岡崎祐士（都立松沢病院）、齋藤利和（札幌医科大学）、
高橋克朗（長崎県立精神医療センター）、辻村徹（長崎市民病院）
中根秀之（保健学科作業療法学専攻）、川村敏明（浦河赤十字病院）

6. 備考（準備学習等）

精神系授業予定(4年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	24	月	3	精神医学入門	歴史、主な理論・分野	精神科・小澤	第4
			4	精神疾患の分類と診断/精神症候学	分類概念、分類体系、診断基準、治療模擬患者VTR、精神病症状、感情障害症状、神経症症状	保健学科・中根	
10	1	月	3	症状評価・検査法	面接法、評価尺度、生理学検査(脳波など)、脳画像検査、心理検査(投影法、非投影法など)	非常勤・辻村	第4
			4	精神療法	精神分析療法、認知行動療法	精神科・今村	
10	15	月	3	気分障害の病態生理と治療1	脳形態、精神生理、心理学、生化学、薬物療法、精神療法	精神科・小澤	第4
			4	気分障害の病態生理と治療2	脳形態、精神生理、心理学、生化学、薬物療法、精神療法	精神科・小澤	
10	22	月	3	統合失調症の病態生理と成因	脳形態、精神生理、心理学、遺伝疫学、分子遺伝学	非常勤・岡崎	第4
			4	統合失調症の症状と治療	精神薬理学、早期介入、薬物療法	精神科・今村	
10	29	月	3	精神作用物質性障害	アルコール関連精神障害、急性中毒、依存症候群(モルヒネ、アンフェタミン、大麻など)	非常勤・齋藤	第4
			4	神経症性障害	神経症の全般的説明、強迫性障害、パニック障害、全般性不安障害	非常勤・高橋	
11	5	月	3	器質性・症状性精神障害	概説、対象疾患、せん妄、身体疾患に伴う精神障害、症状精神病の概説	精神科・木下	第4
			4	認知症の症候学、疫学、病態、治療、ケア	症候学、病態、疫学、薬物療法、非薬物療法	精神科・黒滝	
11	12	月	3	リエゾン・コンサルテーション精神医学	概説、対象疾患、せん妄、チーム医療の概説	精神科・小澤	第4
			4	パーソナリティ障害、生理機能の障害	パーソナリティ障害の概念史、分類、診断基準、睡眠障害、摂食障害	精神科・黒滝	
11	19	月	3	小児・思春期における精神障害	自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動性障害、学習障害	精神科・今村	第4
			4	小児・思春期における精神障害	不登校、被虐待児、行為障害、その他	精神科・今村	
11	26	月	3	「べてるの家」の活動①	ユーザーによる社会的活動	非常勤・川村	第4
			4	「べてるの家」の活動②	ユーザーによる社会的活動	非常勤・川村	
12	3	月	3	司法精神医学	精神保健福祉法、触法精神障害、精神鑑定	精神科・今村	第4
			4	災害精神医学	トラウマの概念、PTSDの疫学、介入、治療	精神科・木下	
12	10	月	3	精神医学における今日のニューロサイエンス	精神障害のニューロサイエンスの最近の研究から	精神科・黒滝	第4
			4	まとめ	まとめ	精神科・小澤	

小 児 系

責任者	氏 名	森 内 浩 幸	内 線	7298
	教 室	小児科学（小児病態制御学）	e-mail	hiromori@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:00 - 18:00 / TEL095-819-7298		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Pediatrics & Pediatric Surgery		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：ヒトが胎芽期、胎児期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期を駆け抜けながら刻々と成長発達していく過程における生理と病理を、内科的および外科的な観点から学んでいく。『小児は大人を小さくしたものではない』ことを理解してもらう。

到達目標：正常発達過程を理解することができる。小児の特異性を身体的・精神的・社会的側面から理解することができる。成長発達していく過程で生じる主な内科的・外科的疾患の病態生理・臨床的特徴・診断法・予防法・治療法を覚える。（小児科総括講義と併せて）小児患者に対する症候学的アプローチの基礎を習得し、小児科臨床実習を行うにあたって必要な臨床知識を整理することができる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

概要 オムニバス形式で小児の正常発達、（他の系で取り上げられていない）小児内科的疾患、小児外科的疾患、小児形成外科的疾患、小児歯科学を講義する。

3. 教科書、参考書等

先天奇形症候群アトラス	梶井・黒木・新川 編	南江堂
標準小児外科学	鈴木・横山・岡田 編	医学書院
標準形成外科学	秦・野崎 編	医学書院

（注：小児科に関しては、特に指定しない。必要な資料は適宜配布または紹介する。）

4. 成績評価の方法・基準

定期考査によって、主な小児疾患の病態生理・臨床像・診断・予防・治療法の理解と習得できた知識のレベルを評価する。

5. 教員名

森内浩幸、山下文（小児科）；大畠雅之（外科1）；小坂太一郎（外科2）；矢野浩規（形成外科）；【非常勤講師】本村克明（長崎市保健所）、藤原 卓（歯学部）；近藤達郎（みさかえの園）；田代香澄（健康保険諫早総合病院）；平松公三郎（国立病院機構長崎病院）；本山和徳、小柳憲司（長崎県立こども医療福祉センター）

7. 備考（準備学習等）

小児の疾患については他の多くの系の授業の中でも取り上げられており、それらを総合して始めて小児の疾患を網羅的に学ぶことができる。小児系とこれらの系の関連講義で学んだことを相互に連結されるように予習・復習する。

小児系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	25	火	1 2	総論・成長・発達・育児	総論・成長・発達・育児：乳幼児期は感受性が高く、両親から多くを学び、親子が共に急速に成長する時期である。妊娠・出産・子育てを理解し、人生で最も大事な時期を医師として如何に支援していくかを学ぶ。	森内（小児科）	第4
10	2	火	1 2	新生児	新生児期は胎児期から乳児・小児期への移行期にあたり、特殊な生理・病態を呈する。胎児・新生児の生理をよく理解してもらった上で、早産に代表されるハイリスク新生児の病態や疾患について解説する	山下（小児科）	第4
10	9	火	1 2	感染症・免疫	小児の免疫学的特徴を理解し、種々の病原体の疫学と生態学を知り、小児における主な感染症を学ぶ。また先天性・後天性の免疫不全の病因病態を理解し、小児期に起こりやすい自己免疫疾患を習得する。	森内（小児科）	第4
10	16	火	1 2	呼吸器・アレルギー	①小児気管支喘息の病態生理・診断・重症度分類・治療（急性発作への対応、長期管理の為の薬物療法）、②食物アレルギーの臨床型分類・診断・治療・予防、③アナフィラキシーの定義・対応を学ぶ。	田代（非常勤：健康保険諫早総合病院）	第4
10	23	火	1 2	内分泌・代謝・栄養	小児の成長の特性について理解するとともに、発達期の栄養と内分泌代謝疾患の概要を把握する。	本村（非常勤：長崎市保健所）	第4
10	30	火	1 2	小児心療内科 発達障害	小児の心と身体に関わりについて学ぶ。小児の心身症、行動障害、不登校など、心身医学的配慮が必要な病態と、その対応について理解する。 発達障害の概念、医療的対応について述べ、児の早期発達支援ならびに家族支援の重要性を学ぶ。	小柳（非常勤：長崎県立こども医療福祉センター） 本山（非常勤：長崎県立こども医療福祉センター）	第4
11	6	火	1 2	小児形成外科 前半：療育医療 後半：小児歯科	顔面・手の発生と様々な先天異常、および発達中の小児における治療とその影響について講義する。 医療を要する重度重複障害児の存在を認識し、命を支え障害と共に生きるために必要な医療について理解する。 ①口腔や歯に影響を及ぼす疾患や薬剤について、②齲蝕原性細菌の伝播と齲蝕の発生メカニズムについて	矢野（形成外科） 平松（非常勤：国立病院機構長崎病院） 藤原（非常勤：歯学部）	第4
11	13	火	1 2	先天異常・遺伝	メンデル遺伝、多因子遺伝、ミトコンドリア遺伝、染色体異常、後成的修飾による疾患を各々概説し、遺伝性疾患患者がおかれている諸問題及びそれに対する遺伝カウンセリングについて論じる。	近藤（非常勤：みさかえの園）	第4
11	20	火	1 2	小児外科（1）	顔面・頸部、胸部（胸壁・肺・気管・縦隔・横隔膜・乳腺・食道）、消化管（胃・十二指腸・空回腸・結腸・直腸）疾患の発生、病態、診断、治療について理解する。	小坂（第2外科）	第4
11	27	火	1 2	小児外科（2）	肝胆膵・腹壁・移植・腫瘍（特に胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症）、腹壁形成異常（臍帯ヘルニア、腹壁破裂）、鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、小児の移植、小児固形腫瘍と集学的治療について概説する。	大畠（第1外科）	第4

感 染 症 系

責任者	氏 名	河野 茂	内 線	7271
	教 室	内科学第二	e-mail	s-kohno@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日 9:00-17:00		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Infectious Diseases		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい: 多様な病原体が宿主に感染することにより起こる感染症は、日常臨床で遭遇する疾病の中で最多のものである。感染症にはどのような特徴があるか、また感染症の患者にいかによりアプローチし、的確な診断、適切な治療さらには予防へと結びつけていくかを、多角的な視点から学ぶことで、病原体の多様性や感染症の臨床像に対し応用力をつけることがねらいである。

到達目標: 臨床医学の中での感染症の特徴を理解して、説明することができる。感染症の患者へのアプローチや診断、治療、予防を総合的にとらえて説明することができる。熱帯感染症についてその背景、特徴を説明することができる。院内感染について、その対策や制御および重要な原因微生物を説明することができる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

概要 内科学の一部を構成する「感染症学」に相当する内容を学習する。主に一般細菌、ウイルス、真菌、寄生虫、抗酸菌感染症の診断と治療を学習する。また、医療従事者において院内感染はきわめて重要な問題であるため、その対策の実際を学び、実習も行う。さらに「熱帯感染症」の視点を取り入れ、海外へのあるいは海外からの旅行者や赴任者が増加の一途をたどっている背景を考慮し、マラリア、デング熱、下痢症、新興感染症を学ぶ。おのおのの病原体の基礎知識、宿主-病原体関係について理解し感染症の病態生理を根本的に理解することを学ぶ。

3. 教科書、参考書等

特に教科書は指定しないが、以下のものを参考書として推薦する。

Mandel GL, Bennett JE, Dolin R. 7th ed 「Principles and Practice of Infectious Diseases」

Mayhall CG. 4th ed 「Hospital Epidemiology and Infection Control」

河野 茂 編 「感染症のとらえ方」文光堂

河野 茂 編 「レジデントのための呼吸器疾患診療マニュアル」医学書院

Richard A. Harvey 山口恵三/松本哲哉 監訳 「イラストレイテッド微生物学 第2版」丸善株式会社

4. 成績評価の方法・基準

期末試験100%。授業内容を中心に出题する試験により行う。

5. 教員名

先進感染制御学分野（第二内科）河野 茂、山本善裕、掛屋 弘、泉川公一、宮崎泰可、
今村圭文、中村茂樹

大学病院 感染制御教育センター 安岡 彰

感染病態制御学分野（小児科）森内浩幸

感染症予防治療分野（熱研内科）有吉紅也、森本浩之輔

熱研病原体分子構造解析分野 森田公一

熱研寄生行動制御分野 濱野真二郎

比較動物医学分野（動物実験施設）大沢一貫

分子治療研究分野（原研内科）塚崎邦弘

大学病院 検査部 柳原克紀

6. 備考（準備学習等）

すでに3年次に履修した感染系の各項目を復習しておくこと。

感染症系(4年後期)

月	日	曜日	校時	授 業 項 目	授 業 内 容	担当講座等・教員	教室
9	28	金	3	感染症診療のための基本的アプローチ：感染症の診断法	感染症の古典的な鏡顕や培養、抗血清による診断法から、近年開発された尿中抗原検査や遺伝子診断まで適応や意義を学ぶ。	第二内科・河野	第 4
			4	耐性菌による感染症	現在、各種領域で問題となっている耐性菌を紹介するとともに、耐性菌による感染症の発症に至る機序や治療について学ぶ。	東京医科大・松本	
10	5	金	3	ウイルス感染症の診断	ウイルス感染症の診断法の総論と、他の授業では取り上げられないウイルスの診断法の各論を概説する。	小児科・森内	第 4
			4	ウイルス感染症の治療	ウイルス感染症の治療法の総論と、他の授業では取り上げられないウイルスの治療法の各論を概説する。	小児科・森内	
10	12	金	3	感染症の予防(1)：能動免疫	ワクチン接種による感染症の予防法についての総論と、代表的なワクチンの各論について学ぶ。	小児科・森内	第 4
			4	感染症の予防(2)：受動免疫, その他	免疫グロブリン療法による受動免疫やその他の手段による感染症の予防法について学ぶ。	小児科・森内	
10	19	金	3	不明熱と敗血症, SIRS	不明熱の3大原因の一つが感染症である。不明熱をみた場合に鑑別すべき感染症と診断法について学ぶ。	第二内科・今村	第 4
			4	難治性感染症	問題となる難治性感染症の原因として耐性菌やバイオフィルム感染症などがあるが、具体的な疾患について学ぶ。	第二内科・泉川	
10	26	金	3	現代医療における易感染性宿主と日和見感染症	抗がん剤治療後のがん患者などにおける免疫不全と併発する感染症の病態生理を講義する。	原研内科・塚崎	第 4
			4	熱帯医学と感染症	熱帯地でみられる感染症を概説するとともに、熱帯医学を幅広くとらえる視野を持たせる。	熱研内科・有吉	
11	2	金	3	熱帯でよくみる細菌感染症の診断と治療	主に熱帯地でみられる、細菌性感染症について、病態、診断、治療について解説する。	熱研内科・森本	第 4
			4	人獣共通感染症	人獣共通(動物由来)感染症について、微生物の概説、伝播方式、予防策などトピックを交えながら講義する。	比較動物医学・大沢	
11	9	金	3	マラリアの診断と治療および予防	熱帯地でみられるマラリアを中心とする原虫疾患の疫学・病態・臨床・診断方法・治療・予防について体系的に説明する。	熱研内科・有吉	第 4
			4	インフルエンザの臨床、治療	インフルエンザウイルス感染に関連する様々な臨床像について説明する。	第二内科・中村茂樹	
11	16	金	3	蚊が媒介するウイルス感染症の診断と治療	熱帯地域で重要な日本脳炎、デング出血熱、西ナイル熱などの蚊媒介性ウイルス感染所の診断、治療、予防について講義する。	熱研・森田	第 4
			4	寄生虫感染症の診断と治療	寄生虫感染症の病態、診断、治療について学ぶ。	熱研・濱野	
11	30	金	3	深在性真菌症の診断と治療	深在性真菌症の主要な病原菌、重要な基礎疾患、エビデンスに基づく抗真菌薬療法について学ぶ。	第二内科・河野	第 4
			4	院内感染とその対策Ⅰ	接触感染、飛沫感染、空気感染の違いと、院内感染対策の上で重要な病原菌の病態や対処方法を学ぶ。	感染制御教育センター・安岡	
12	7	金	3	院内感染とその対策Ⅱ	院内感染を防止するための理論と対策を学ぶ。	感染制御教育センター・安岡	第 4
			4	院内感染対策実習	院内感染防止の具体的手順について実習する	感染制御教育センター・安岡	
12	14	金	3	エイズの疫学, 自然経過, 予防	国内外のエイズ流行の動向について概説し、エイズの疫学、自然経過、予防対策の本質について学ぶ。	熱研内科・有吉	第 4
			4	エイズの臨床、治療	HIV感染者・エイズ患者に対する臨床的アプローチの仕方、日和見感染症の予防・治療、最新の抗HIV薬併用療法について学ぶ。	熱研内科・有吉	
12	21	金	3	性行為感染と母子感染	ヒトの再生に関わる性行為、妊娠、分娩、授乳の営みを介して起こる感染症の総論と、代表的疾患の各論を学ぶ。	小児科・森内	第 4
			4	抗酸菌感染症の診断と治療	結核症と非結核性抗酸菌症の疫学、病態と鑑別診断、さらに診断方法と標準的な治療法に関して学習する。	第二内科・山本	
1	4	金	3	感染症の画像診断	感染症領域における画像診断のポイントを実際の症例を交えながら学ぶ。	第二内科・泉川	第 4
			4	感染症の救急診療	感染症領域における救急診療のポイントを実際の症例を交えながら学ぶ。	第二内科・宮崎	
1	11	金	3	抗菌薬の選択法	最新の一般抗菌薬の種類、各系統のスペクトルや副作用の特徴、典型的な適応症について学ぶ。	検査部・柳原	第 4
			4	抗菌薬の選択法(2)	最新の抗真菌薬の種類や副作用、また抗菌薬処方の実際について学ぶ。	第二内科・掛屋	

法 医 学 系

責任者	氏 名	池松 和哉	内 線	7076
	教 室	社会医学・法医学	e-mail	
	オフィスアワー	木曜日 16:30～17:30		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1.5
英語名	Forensic Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

法医学は「医学的解明助言を必要とする法律上の案件・事項について、科学的で公正な医学的判断を下すことによって、個人の基本的人権の擁護、社会の安全、福祉の維持に寄与することを目的」としており、これを達成するに必要な知識獲得を到達目標とする。

到達目標：

1. 「異状死」という概念を説明できること。
2. 医師の専任事項である死体検案（死後診察）について確実に理解できること。
特に、検案の主目的である「死因」、「死亡推定時刻」、「個人識別」、「法医学的異状の有無」に関しては、論理的で正確な判断を行なえること。
3. 医師として必要な「死亡診断書（死体検案書）」を正確に記載・作成できること。

2. 授業内容（講義・実習項目）

到達目標に則して、死因論、損傷論、個人識別、及び異状死の概念と死体検案の方法並びに死体検案書の記載・作成法等の講義を行なう。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
★学生のための法医学（改訂6版）	田中宣幸 他	南山堂	5,300 円
エッセンシャル法医学	高取健彦 他	医歯薬出版	6,000 円
★死体検案マニュアル2005年	日本法医学会	日本法医学会	2,000 円

4. 成績評価の方法・基準

定期考査90%、レポート10%で評価する。

上記到達目標を60%以上到達できた場合を合格とする。

5. 教員名

法医学：池松和哉、梅原敬弘

放射線科：村上友則

非常勤講師：久保真一（福岡大学）、木下博之（香川大学）、北村修（金沢医科大学）

小片守（鹿児島大）、神田芳郎（久留米大学）

6. 備考（準備学習等）

講義前に教科書を読み、法医学用語を学習しておく。

法医学系授業予定（４年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
9	27	木	3	法医学概論	法医学の定義・歴史	法医・池松	第1
			4	死の判定と死因	生から死への過程、死の判定、死因、死因論		
10	4	木	3	外因死と内因死	外因死と内因死の定義	法医・池松	第2
			4	損傷（1）	損傷総論・鈍器損傷		
10	11	木	3	損傷（2）	鋭器・鈍器損傷	法医・池松	第2
			4	損傷（3）	頭部の損傷（外景・内景所見と死因）	非常勤・久保	
10	18	木	3	損傷（4）	交通事故による損傷	法医・池松	第2
			4	個人識別	血液型・DNA型	非常勤・神田	
10	25	木	3	損傷（5）	損傷の評価法	法医・池松	第1
			4	損傷（6）	小児・配偶者・高齢者に対する虐待	非常勤・小片	
11	1	木	3	死体現象	死体現象と死後経過時間の推定	法医・池松	第1
			4	法医中毒学	アルコール・農薬・覚醒剤中毒	非常勤・木下	
11	8	木	3	個人識別	個人識別の実際	法医・梅原	第1
			4	内因死	法医学における内因性急死	非常勤・北村	
11	15	木	3	窒息死（1）	窒息総論・頸部圧迫による窒息死1	法医・池松	第1
			4	窒息死（2）	頸部圧迫による窒息死2		
11	22	木	3	溺死	溺死体と水中死体	法医・池松	第1
			4	死後画像診断	法医学における画像診断	放射線科・村上	
11	29	木	3	胎・嬰兒の死	嬰兒殺	法医・池松	第1
			4	異常環境下の死	高温による障害・低温による障害		
12	6	木	3	検案の実際	検案の方法と注意点	法医・池松	第1
			4	法医学演習	症例の検討		

診 断 学

責任者	氏 名	大 園 恵 幸	内 線	7323
	教 室	総合診療学（総合診療学）	e-mail	oozono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:30-18:30		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	3
英語名	Physical Diagnosis		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

診断学では、臨床の第一歩として医師－患者信頼関係を重視した医療面接技能及び基本的臨床技能を修得する。さらに症候から診断への的確なアプローチ法を学ぶとともに患者の立場に立った医療を行える医師となるための基礎を築くことを目標とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義：総論として医療面接技能、基本的身体診察技能とともに内科、外科、臨床検査診断、放射線、内視鏡、症候診断、眼底、鼓膜診察法を教授する。

実習：実習要領に沿って総論実習2回と項目についての各論実習を10回行う。

総論実習では、チューターとなる教官がそれぞれのグループの学生に基本的診察技能を指導する。各論実習では、それぞれの専門医が主要症候から診断法、身体診察法を指導する。

3. 教科書、参考書等

基本的臨床技能マニュアル（長崎大学医学部編）を配付する。それに加えて下記の教科書・参考書が参考となる。

書 名	著 者	出版社	定 価
内科診断学	武内重五郎	南江堂	8,715 円
診察診断学	高久史麿 監修 橋本信也、福井次矢	医学書院	6,300 円

4. 成績評価の方法・基準

筆記試験：講義及び実習内容について筆答試験を行う。

実技試験：共用試験OSCE（客観的臨床技能試験）により実技試験を行い修得度を判定する。

出席：講義・実習とも出席状況を評価に入れる。

評価方法：筆記試験と実技試験を総合して評価する。

成績評価の基準：総点の60%以上かつ実技試験の60%以上を合格とする

5. 教員名

第一内科：川上、本村、阿比留、中村、古林、安藤、中嶋

第二内科：河野、松瀬、福島、山本、石松、西野

循環器内科：前村、河野、小出

原研内科：宮崎、波多、対馬

熱研内科：有吉、古本、神白

消化器内科：中尾、竹島、市川、大仁田、田浦、塩澤、山口、赤澤、柴田、松島、本田

第二外科：江口、黒木、南、高槻、金高、藤田、山之内、伊藤、北里、足立、曾山

放射線科：上谷、坂本、工藤

検査部：柳原、長谷川、森永

耳鼻科：高橋、福田

眼科：北岡

光学医療診療部：磯本

総合診療科：大園、中道、井上

先端医育支援センター：安武

6. 備考（準備学習等）

実習の前には、基本的臨床技能マニュアル（長崎大学医学部編）やその他の教科書であらかじめ予習しておくこと。

診断学授業予定（４年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	26	水	2	外科学診断学総論①	乳腺・リンパ節の診察、ガウンテクニック	第2外科 南	第 4
			3	放射線診断学総論①	X線撮影、CT、MRI	放射線科 上谷	
			4	放射線診断学総論②	造影検査と造影剤	放射線科 坂本	
10	3	水	2	外科学診断学総論②	直腸・肛門の診察、外科縫合	第2外科 藤田	第 4
			3	診断学総論①	基本的身体診察	総診 中道・井上	
			4				
10	10	水	2	臨床検査医学総論①	検査診断学総論	検査部 柳原	第 4
			3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
			4				
10	17	水	2	臨床検査医学総論②	血液・血清診断学	検査部 長谷川	第 4
			3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
			4				
10	24	水	2	臨床検査医学総論③	微生物検査診断学	検査部 森永	第 4
			3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
			4				
10	31	水	2	診断学総論②	診断のプロセス、医療面接	総診 大園	第 4
			3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
			4				
11	7	水	2	症候診断学①	症候診断学とMEDLINE	第1内科 川上	第 4
			3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
			4				
11	14	水	2	放射線診断学総論③	医療被曝と放射線防護	放射線科 工藤	第 4
			3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
			4				
11	21	水	2	内視鏡診断学総論①	腫瘍	光学診療部 磯本	第 4
			3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
			4				
11	28	水	2	内視鏡診断学総論②	炎症、血管、他	光学診療部 磯本	第 4
			3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
			4				

診断学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
12	4	火	3	症候診断学②	呼吸器診断学のポイント	第2内科 河野	第4
			4	症候診断学③	循環器診断学のポイント	循環器内科 前村	
12	5	水	2	眼底の診察法	眼底鏡の原理と使い方	眼科 北岡	第4
			3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
			4				
12	11	火	3	症候診断学④	血液病の兆候から診断までのプロセス	血液内科 宮崎	第4
			4	症候診断学⑤	感染症の症候診断学	熱研内科 古本	
12	12	水	2	鼓膜の診察法	鼓膜の診察法	耳鼻咽喉科 福田	第4
			3	診断学各論実習	実習要項参照	内科・総診・2外科	
			4				
12	19	水	2	症候診断学⑥	腹痛の診断学	消化器内科 竹島	第4
			3	内科診断学総論実習①	実習要項参照	内科・総合診療科	
			4				
1	9	水	2	OSCE	OSCEについて	先端医学支援センター 安武	第4
			3	内科診断学総論実習②	実習要項参照	内科・総合診療科	
			4				

7. 診断学実習要領

(1) 総論実習

A～Pの16グループに分かれて、基本的身体診察法を学ぶための実習を2回（12/19, 1/9の午後）、下表の指導教官のもとで行う。各実習日の13:30に下表の場所に集合すること。

グループ（履修番号）	指導担当教官	集合場所
A（ ）	本村 政勝（一内科）	7階 シミュレーションセンター
B（ ）	松瀬 厚人（二内科）	3階 呼吸器外来待合室
C（ ）	河野 浩章（循環器内科）	2階 循環器内科外来
D（ ）	波多 智子（原研内科）	3階 血液内科外来待合室
E（ ）	古本 朗嗣（熱研内科）	3階 感染症内科外来
F（ ）	竹島 史直（消化器内科）	9階 内科医局・第2会議室
G（ ）	中道 聖子（総合診療科）	1階 総合診療科外来
H（ ）	中村 英樹（一内科）	7階 シミュレーションセンター
I（ ）	福島 千鶴（二内科）	3階 呼吸器外来待合室
J（ ）	小出 優史（循環器内科）	2階 循環器内科外来
K（ ）	対馬 秀樹（原研内科）	3階 血液内科外来待合室
L（ ）	神白 麻衣子（熱研内科）	3階 感染症内科外来
M（ ）	市川 辰樹（消化器内科）	9階 内科医局・第5会議室
N（ ）	井上 圭太（総合診療科）	第4講義室
O（ ）	阿比留 教生（一内科）	7階 シミュレーションセンター
P（ ）	山本 善裕（二内科）	3階 呼吸器外来待合室

☆ A・Bは総論実習のグループ編成を示す。以下同様

☆ グループ編成は後日知らせる。

☆ 実習（総論、各論）の開始は13:30からである。講義とは異なっている
ので気をつけること

(2) 各論実習

下記の日程に従って、神経、血液、感染症、代謝、内分泌、消化器、呼吸器、循環器、膠原病、腎臓、外科、プライマリケア、疾患についての基本的診断手技の実習を10回行う。

各論実習ローテーション表

実習期日			10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12
実習項目 担当責任教官	実習時間	集合場所	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水
神経疾患 (一内科) 本村政勝・中嶋秀樹	13:30~15:00	9階 多目的室1 (第1会議室)	I・II	I・II	IX・X	IX・X	VII・VIII	VII・VIII	V・VI	V・VI	III・IV	III・IV
	15:20~16:50		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI		III・IV	
膠原病疾患 (一内科) 中村 英樹	15:20~16:50	9階 多目的室1 (第1会議室)		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI		III・IV
血液疾患 (原研内科) 波多智子	13:30~15:00	3階 外来待合室	III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI	
感染症疾患 (熱研内科) 古本朗嗣	15:20~16:50	国際医療センター3階 共用カンファレンス室	III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI	
代謝疾患 (一内科) 古林 正和	13:30~15:00	9階 多目的室1 (第1会議室)		III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI
内分泌疾患 (一内科) 安藤隆雄	15:20~16:50	9階 多目的室1 (第1会議室)		III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI
消化器疾患 (消化器内科) 田浦直太	13:30~15:00	9階 内科医局 第2会議室/第5会議室	V/VI	V/VI	III/IV	III/IV	I/II	I/II	IX/X	IX/X	VII/VIII	VII/VIII
	15:20~16:50		V/VI		III/IV		I/II		IX/X		VII/VIII	
プライマリケア・BLS (総合診療科) 井上圭太	15:20~16:50	第4講義室		V・VI		III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII
呼吸器疾患 (二内科) 石松祐二	13:30~15:00	7階 第4会議室	VII・VIII	VII・VIII	V・VI	V・VI	III・IV	III・IV	I・II	I・II	IX・X	IX・X
	15:20~16:50		VII・VIII		V・VI		III・IV		I・II		IX・X	
腎臓疾患 (二内科) 西野友哉	15:20~16:50	7階 第4会議室		VII・VIII		V・VI		III・IV		I・II		IX・X
循環器疾患 (循環器内科) 河野浩章	13:30~15:00	7階 シミュレーションセンター	IX・X	IX・X	VII・VIII	VII・VIII	V・VI	V・VI	III・IV	III・IV	I・II	I・II
	15:20~16:50		IX・X		VII・VIII		V・VI		III・IV		I・II	
外科 (二外科) 江口 晋	15:20~16:50	7階 シミュレーションセンター		IX・X		VII・VIII		V・VI		III・IV		I・II

- ☆ I・IIは各論実習のグループ編成を示す。以下同様
- ☆ グループ編成は後日知らせる。
- ☆ 総論と各論でグループ編成が異なることに注意
- ☆ BLS: Basic Life Support
- ☆ 実習(総論、各論)の開始は1:30からである。講義とは異なっているので気をつけること

放 射 線 医 学

責任者	氏 名	上 谷 雅 孝	内 線	7353
	教 室	放射線医学（放射線診断治療学）	e-mail	uetani@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午前10時～12時		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Radiology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標 と 2. 授業内容

放射線医学は、放射線診断学、核医学および放射線治療学から成り立っている。放射線診断学には、胸部、消化器、循環器、骨軟部、泌尿器、脳神経などの疾患の診断が含まれ、診断法としては単純X線撮影、種々の造影X線検査、超音波検査、CT、MRIなどがある。これらの中には放射線を用いないものも含まれ、画像診断と呼ばれることも多い。本講義では、各種診断法及び核医学検査の基本的な原理、正常像および代表的な疾患の異常像を学び、また放射線治療の原理と基本的な技術および適応について学ぶ。到達目標は、国家試験レベルの代表的疾患の画像診断ができるようになること、および放射線治療の適応・方法についての理解である。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
標準放射線医学 第7版	西谷 弘 他編	医学書院	10,500円
画像診断を学ぼう 単純写真とCTの基本	Hering W 著、江原 茂訳	メディカルサイエンス・インターナショナル	6,800円
スクワイア放射線診断学	Novelline RA著、藤原卓哉訳	羊土社	8,400円
新版胸部単純X線診断	林 邦昭、中田 肇 編	秀潤社	4,800円
単純写真読影のためのキーワード201	上谷雅孝 編著	メディカルビュー社	9,500円
胸部単純X線アトラス	芦澤和人 編著	ベクトル・コア	4,500円

4. 成績評価の方法・基準

4年時学年末試験にて60%以上の得点率にて合格とする。

5. 教員名

放射線科：上谷雅孝、伊東昌子、坂本一郎、林 靖之、森川 実、林 秀行
 がん診療センター：芦澤和人
 原研アイソトープ診断治療学：工藤 崇
 非常勤講師：福田俊夫（長崎市民病院）、森 宣（大分大学）、越智 誠（長崎北病院）、磯本一郎（聖フランシスコ病院）

6. 備考（準備学習等）

画像診断や放射線治療の理解は、各疾患の病態生理・病理学等の理解が基本となる。これまで学習してきた各臓器・領域の主な疾患について復習しておいてほしい。

放射線医学授業予定（４年後期）

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	28	金	2	放射線治療（１）	放射線科・林（靖）	第４
10	5	金	2	放射線治療（２）	放射線科・林（靖）	第４
10	12	金	2	乳腺	非常勤・磯本	第４
10	19	金	2	腹部（１）	非常勤・福田	第４
10	26	金	2	腹部（２）	放射線科・林（秀）	第４
11	2	金	2	血管造影・IVR（１）	非常勤・森	第４
11	9	金	2	血管造影・IVR（２）	放射線科・坂本	第４
11	30	金	2	脳神経（１）	放射線科・森川	第４
12	7	金	2	脳神経（２）	非常勤・越智	第４
12	14	金	2	胸部（１）	がん診療セ：芦澤	第４
12	18	火	3	胸部（２）	がん診療セ・芦澤	第４
			4	骨・関節（１）	放射線科・上谷	第４
12	21	金	2	骨・関節（２）	放射線科・上谷	第４
12	25	火	3	骨粗鬆症・骨塩定量	放射線科・伊東	第４
1	4	金	2	核医学（１）	アイソトープ診断治療学・工藤	第４
1	11	金	2	核医学（２）	アイソトープ診断治療学・工藤	第４

臨床検査医学

責任者	氏 名	柳原 克紀	内 線	7574
	教 室	臨床検査医学 (病態解析・診断学)	e-mail	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金曜日の17:00～18:00		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	1
英語名	Laboratory Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ね ら い：医療における検査の意義を系統的に理解し解釈する能力を養う。

方 法（学習指導法）：講義形式とし、プリントやプロジェクターを用いて解説する。

到達目標：検査情報を正しく分析・解釈することができ、また検査情報を活用した適正な医学的判断能力を習得できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

正しい臨床診断を得るためには検査データの科学的かつ総合的な解釈能力が要求される。病院の中核部門の1つである検査部や輸血部で行われている検査について理解を深め、各種検査についての基本的知識や解釈原理、異常値が出る病態生理学的機序を理解する授業を行う。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
臨床検査ガイド 標準臨床検査医学 臨床検査法提要 よくわかる輸血学 移植・輸血検査学 血液細胞アトラス Handbook of Hematologic Pathology		文光堂 医学書院 金原出版 羊土社 講談社 文光堂 Marcel Dekker Inc, USA	

4. 成績評価の方法・基準

講義終了後に筆記試験を行い、60点以上を合格とする。講義に1/3以上欠席すると受験の資格はないものとする。

5. 教員名

臨床検査医学：柳原克紀、長谷川寛雄、森永芳智、南 惣一郎
病院細胞療法部：長井一浩、病院病理部：林 徳眞吉

6. 備考（準備学習等）

授業の前に参考書で予習をしておくこと。

臨床検査医学授業予定（４年後期）

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	26	水	1	総論（１）医療と臨床検査	臨床検査医学・柳原	第４
10	3	水	1	総論（２）検査値の解釈原理	臨床検査医学・柳原	第４
10	10	水	1	各論（１）一般・検査血液学	臨床検査医学・長谷川	第４
10	17	水	1	各論（２）臨床化学総論	臨床検査医学・長谷川	第４
10	24	水	1	各論（３）臨床化学検査総論	臨床検査医学・南（柳原）	第４
10	31	水	1	各論（４）臨床化学検査各論（１）	臨床検査医学・森永	第４
11	7	水	1	各論（５）臨床化学検査各論（２）	臨床検査医学・森永	第４
11	14	水	1	各論（６）臨床病理	病院病理部・林	第４
11	21	水	1	各論（７）微生物検査（１）	臨床検査医学・柳原	第４
11	28	水	1	各論（８）微生物検査（２）	臨床検査医学・柳原	第４
12	5	水	1	各論（９）輸血（１）	病院細胞療法部・長井	第４
12	12	水	1	各論（１０）輸血（２）	病院細胞療法部・長井	第４
12	19	水	1	各論（１１）免疫血清検査	臨床検査医学・長谷川	第４
12	25	火	4	各論（１２）遺伝子検査	臨床検査医学・長谷川	第４
1	9	水	1	各論（１３）感染症核酸検査	臨床検査医学・森永	第４

外科治療学

責任者	氏 名	江口 晋	内 線	7312
	教 室	移植・消化器外科学	e-mail	sueguchi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:00～18:00		

対象年次・学期	4年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Surgical Therapeutics		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

外科治療学では外科総論、救急医学、臓器移植と人工臓器および麻酔科学について学ぶ。

2. 授業内容（講義）

外科総論においては外科的侵襲と手術患者の病態生理を理解し、基本的手術手技や術前術後管理を中心に学ぶ。救急医学においては救急患者の診断と治療および救急患者に対する処置について学ぶ。臓器移植においては臓器移植の種類、内容と移植免疫、人工臓器においては人工臓器の種類と必要条件および問題点を中心に学ぶ。麻酔科学においては麻酔法、麻酔薬および呼吸循環管理など周術期管理を中心に学ぶ。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
標準外科学 12版	監修：加藤治文	医学書院	8,925 円
Principles of Surgery, 9th ed.	Schwartz S. I.	McGraw-Hill	15,513 円
Textbook of Surgery, 19th ed	Sabiston D. C	Saunders	16,334 円
TEXT麻酔・蘇生学 3版	澄川耕二、土肥修司編	南山堂	6,500 円
外傷初期診療ガイドライン	日本外傷学会・日本救急医学会 監修	へるす出版	16,800円

4. 成績評価の方法・基準

講義終了後に筆記試験を行い評価する。60点以上を合格とする。再試験は1回行なう。

5. 教員名

腫瘍外科：永安 武、大畠雅之、七島篤志、山崎直哉、土谷智史、竹下浩明、日高重和

移植・消化器外科：江口 晋、黒木 保、高槻光寿、金高賢悟、南 恵樹、藤田文彦、山之内孝彰、足立智彦、曾山明彦、小坂太一郎

麻酔科：澄川耕二、福岡 誠（長崎労災病院）、原 哲也、趙 成三、前川拓治、北條美能留、境 徹也

手術部：柴田 治

集中治療部：榎田徹次

救命救急センター：田崎 修、長谷敦子、山下和範、猪熊孝実、山野修平、立石洋平

心臓血管外科：江石清行

泌尿器科：錦戸雅春

6. 講義時間割 ① 8:50-9:50 ② 9:55-10:55 ③ 11:00-12:00
④ 13:00-14:00 ⑤ 14:05-15:05 ⑥ 15:10-16:10

7. 備考（準備学習等）

解剖学、生理学、臓器機能・体液系を復習しておく。

外科治療学授業予定(4年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員		教室
9	27	木	1	基本的外科手術手技	(1)手術器具、(2)基本的手術操作、(3)小外科手術手技	腫瘍外科	日高重和	第3
				術前・術後の患者管理(1)	(1)術前の患者管理一般、(2)術前の特殊状態の評価と管理	腫瘍外科	永安 武	
			2	麻酔科学(1)	歴史・専門医制度・麻酔科学の領域	麻酔科	澄川耕二	
10	4	木	1	外科の歴史と外科医の立場	(1)外科の歴史、(2)外科医と法、(3)専門医制度	移植・消化器外科	江口 晋	第3
				問診ならびに外科的診察法	(1)病歴、(2)理学的所見	移植・消化器外科	高槻光寿	
			2	麻酔科学(2)	全身麻酔-静脈麻酔薬・筋弛緩薬	手術部(麻酔科)	柴田 治	
10	11	木	1	術前・術後の患者管理(2)	(3)術後の患者管理一般、(4)術後合併症とその対策	腫瘍外科	永安 武	第3
				救急医学(1)	救急医学概論、救急医療システム	救命救急センター	田崎 修	
			2	麻酔科学(3)	全身麻酔-吸入麻酔法	麻酔科	澄川耕二	
10	18	木	1	ショック(1)	(1)ショックの概念、(2)ショックの原因と分類、(3)ショックの病態	腫瘍外科	竹下浩明	第3
				救急医学(2)	心肺蘇生法、溺水、脳死判定	救命救急センター	長谷敦子	
			2	麻酔科学(4)	局所麻酔薬・浸潤麻酔・伝達麻酔	手術部(麻酔科)	柴田 治	
10	25	木	1	ショック(2)	(4)ショックの治療、(5)ショックの合併症とショック臓器	腫瘍外科	竹下浩明	第3
				救急医学(3)	救急診察法及び診断、画像診断と治療への応用	救命救急センター	猪熊孝実	
			2	麻酔科学(5)	脊髄麻酔と硬膜外麻酔	麻酔科	趙 成三	
11	1	木	1	小児外科の特徴	(1)小児外科の特徴、(2)新生児・未熟児の特徴、(3)術前・術後の栄養管理	腫瘍外科	大畠雅之	第4
				損傷と創傷治癒	(1)機械的損傷、(2)非機械的損傷、(3)創傷の治癒過程、(4)創傷治癒を左右する因子、(5)創傷管理の実際	移植・消化器外科	藤田文彦	
			2	麻酔科学(6)	周術期全身管理-呼吸管理	麻酔科	原 哲也	
11	8	木	1	炎症と感染(1)	(1)炎症の概念と病態生理、(2)臨床症状と所見、(3)外科的感染症の起炎菌	腫瘍外科	山崎直哉	第4
				外科的侵襲と生体反応(1)	(1)神経内分泌系の反応、(2)循環系の反応、(3)代謝系の反応	移植・消化器外科	曾山明彦	
			2	麻酔科学(7)	周術期全身管理-循環管理	集中治療部(麻酔科)	槇田徹次	
11	15	木	1	炎症と感染(2)	(4)全身感染症と敗血症、(5)外科的特殊感染症、(6)治療	腫瘍外科	山崎直哉	第4
				外科的侵襲と生体反応(2)	(4)免疫系の反応、(5)血液凝固系の反応、(6)術後の生体反応と回復過程	移植・消化器外科	曾山明彦	
			2	麻酔科学(8)	周術期全身管理-体液管理	麻酔科	前川拓治	

外科治療学授業予定(4年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員		教室
11	22	木	1	体液の変動と輸液	(1)正常体液分布、(2)侵襲と体液変動、(3)水・電解質異常、(4)酸塩基平衡傷害、(5)輸液療法	移植・消化器外科	足立智彦	第4
				救急医学(4)	環境異常、異物、刺咬傷	救命救急センター	立石洋平	
			2	麻酔科学(9)	集中治療と急性重症病態	集中治療部(麻酔科)	横田徹次	
11	29	木	1	外科と免疫(1)	(1)免疫機構と調節、(2)腫瘍免疫	移植・消化器外科	伊藤信一郎	第4
				救急医学(5)	災害医療(特別講義)	救命救急センター	山下和範	
			2	麻酔科学(10)	ペインクリニック-痛み診療の基礎	麻酔科	境 徹也	
12	6	木	1	外科と免疫(2)	(3)移植免疫、(4)免疫不全と日和見感染	移植・消化器外科	伊藤信一郎	第4
				救急医学(6)	外傷(JATEC, PTECを含む)とショック	救命救急センター	長谷敦子	
			2	麻酔科学(11)	ペインクリニック-CRPS・腰下肢痛	麻酔科非常勤講師: 長崎労災病院	福崎 誠	
12	13	木	1	外科と栄養(1)	(1)外科における栄養管理の意義、(2)栄養アセスメント	腫瘍外科	七島篤志	第4
				血液凝固異常と輸血	(1)止血機構、(2)止血機構の傷害、(3)輸血の目的、(4)血液製剤の種類と特徴、(5)輸血法、(6)輸血の副作用と合併症	移植・消化器外科	南 恵樹	
			2	救急医学(7)	熱傷、化学損傷、電撃症、敗血症	救命救急センター	山野修平	
				麻酔科学(12)	緩和医療	麻酔科	北條美能留	
			4	老人外科の特徴	(1)老人外科の特徴、(2)手術適応、(3)周術期管理の特徴	腫瘍外科	矢野 洋	
				腫瘍(1)	(1)良性腫瘍と悪性腫瘍、(2)発癌メカニズム、(3)悪性腫瘍の病態	移植・消化器外科	黒木 保	
12	20	木	1	外科と栄養(2)	(3)経腸栄養、(4)経静脈栄養	腫瘍外科	七島篤志	第4
				腫瘍(2)	(4)臨床診断と特殊検査、(5)悪性腫瘍の治療、(6)悪性腫瘍の疫学	移植・消化器外科	黒木 保	
			2	移植と人工臓器	泌尿器系の移植と人工臓器	泌尿器科	錦戸雅春	
				移植と人工臓器	消化器系の移植と人工臓器	移植・消化器外科	高槻光寿	
			4	移植と人工臓器	呼吸器系の移植と人工臓器	腫瘍外科	土谷智史	
				移植と人工臓器	循環器系の移植と人工臓器	心臓血管外科	江石清行	

医 学 ゼ ミ

責任者	氏 名	伊藤 敬	内 線	7037
	教 室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	1年：前期、後期 2年：前期、後期 3年：前期 4年：前期、後期	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択	必修	単位数	前期、後期各1
英語名	Small group medical seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

必修選択の科目であり、各科目10名前後の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、1年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。AO学生は、医学ゼミを通して当該領域の知識を深める。

2. 授業科目の選択方法

- A. 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教官、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- B. 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- C. 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

3. 教科書、参考書等

担当教員が提示する。

4. 成績評価の方法・基準

1、2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期・後期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

5. 指導教員など

医学科、熱帯医学研究所、先導生命支援センター教員

6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

「医学ゼミ」平成24年度開講テーマ一覧(4年次)

(4年次)

番号	講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内容	開講時間	場所	評価方法	受講可能人数
1	解剖学第2	3年次前期 4年次前期	解剖実習をもう一度	弦本 敏行	臨床科目を履修した高学年の学生が、それらの科目との連携を意識しながら肉眼解剖学実習を再体験する	2年生学生の人体解剖学実習にティーチングアシスタントとして参加し、自らの知識を再確認してもらう。	金曜日5校時	解剖実習室	出席、レポート、質疑応答	10名
2	消化器内科	4年次後期	消化管臨床研究最前線	磯本 一	上部(胃・食道)消化管を中心に、消化管臨床研究の最新情報に関する海外文献・成書を抄読する。ときに、実際を見学、内視鏡機器など光学器械をつかったモデル体験などを通じて、消化器内科、そして内科学の興味を養う。	上部(胃・食道)消化管を中心に、消化管臨床研究の最新情報に関する海外文献・成書を抄読する。ときに、実際を見学、内視鏡機器など光学器械をつかったモデル体験	金曜日4校時	内視鏡室	出席・レポート	5名
3	消化器内科	4年次前期	GUT CLUB	竹島 史直	様々な腸疾患の臨床をより深く学習する。	入院、外来の症例検討を行うことで腸疾患に対する興味を喚起するとともに、それに関する最新の英文臨床研究やUp to Dateの抄読会を通じて理解を深める。	金曜日16時30分～17時30分	消化器内科医局	出席や発表内容より総合的に評価	8名
4	消化器内科	4年次後期	臨床実地問題から学ぶ消化器病学	中尾 一彦	国家試験、卒業試験問題の演習を行い消化器疾患に対する理解を深める	国家試験、卒業試験問題の演習を通して病態の把握が不十分な点について解説する。	金曜日17時～18時	消化器内科医局	総合評価	12名
5	循環器内科	4年次後期	心電図道場―実地から学ぶ心電図判読	前村 浩二	基本的な心電図の判読ができるようになることをめざす	講義で学んだだけでは、心電図判読に苦手意識を持っている学生が多い。心電図判読のコツは最初の心電図判読の作法を理解した上で、多くの症例の心電図を自分で読んでみることである。本セミナーでは、さまざまな症例の心電図を自分で実際に読んでもらい、それを添削しながら判読のコツをつかんでもらう。本セミナーを通じて心電図に対する苦手意識をなくし、むしろ楽しく読めるようにする。	金曜日5校時	外来棟9階内科ゼミナール室	出席率、討論参加度	10名
6	第二外科	4年次後期	M&Mカンファレンス	江口 晋	特に経過上問題となった臨床症例を通して、少人数制の、双方向性の検討を行う機会を持つ。系統講義では体験できないような深く掘り下げた議論を行なう。	問題症例などを提示し、反省点を浮き彫りにし、今後の診療に生かす。	土曜日のAM8:30より	第二外科医局	出席状況、レポート等で総合的に評価する。	5名程度
7	第二内科	4年次後期	内科診療実践編	松瀬 厚人	教科書を読むだけではわからない、内科臨床医に求められる実践的な判断力、手技を身につける。	模擬病歴、実際の画像、シミュレーターなどを用いて実践的な内科の知識と手技の習得を目指す。	金曜日1校時	12階カンファレンス室集合、必要に応じてシミュレーションセンターへ移動	出席状況、レポート、討論への参加具合の評価	10名程度
8	へき地病院再生支援・教育機構	4年次後期	へき地・離島の医療を考える	調 漸	長崎県で展開されるへき地や離島医療の現状を学び、これからの地域医療について考える	離島・へき地で活躍する総合医や家庭医、専門医による医療、ドクターヘリについても実地で活躍する医師の経験からの学びを通して地域を包括できる医療を考える。地域で活躍する医療スタッフによる講義とグループディスカッション形式で実施する	金曜日5時限目	医学部基礎棟1階 視聴覚教室	出席、レポート提出、各自が調査、研究した地域医療に関するプレゼンテーション	10名まで
9	原研分子医学	4年次後期	英文で読む臨床症例報告	永山 雄二	英文臨床症例報告の抄読会を通じて、臨床英語に慣れ、かつ実践的な臨床力を身につける。	英文医学雑誌New England Journal of Medicineに掲載されたCase Reportを題材に抄読会を行う。	金曜日1校時	原研4階研修室	出席及び発表内容、グループ討議を行うので予習必須＆遅刻厳禁。	15名
10	第二病理学	4年次前期	病理学から見る疾患	中山 敏幸	文献や病理組織標本等を使用し、疾患(成立機序、発生する症状、治療法等)について理解を深める。	毎回一つの疾患を選択し、参考文献を収集し、全員で検討する。特に疾患の基礎となる病理学的視点に重点を置き、最新の論文(英文を含む)や組織標本、資料等を基に疾患の基礎を学習する。	木曜日5校時以降	第二病理所見室	出席、討論参加度、資料準備度等	5-10名
11	法医学	4年次後期	異状死とは？死者からの伝言	池松 和哉	当教室で検視・解剖した症例について死因の解明や事例の背景などを検討し、異状死(突然死)について医療人としての理解を深めてもらう。	各症例の事件発生即報告書、死体検案書、解剖検査記録などを参考にして最終的に症例報告としてまとめる。	金曜日5校時	基礎棟6階法医学教室大学院ゼミナー室	総合的に評価する	10名以下
12	泌尿器科	2年次前期 3年次前期 4年次前期	マンガで学ぶ“泌尿器科ってなんだ？”	井川 肇	本ゼミを泌尿器科学入門と位置づけ、マンガという身近な教材を用いて泌尿器科学の受け持つ領域と特徴を知り、さらに発展させて現代医学の基本部分の理解にもつなげていく。	泌尿生殖器の解剖、機能および疾患の特徴などを直観的に捉えられるように、主にマンガやビデオ等のメディアを用いて、学生自身が司会進行する形で講義を行う。これに適宜教官からの補足を行う。また、プレゼンテーションスキルなどの簡単なトレーニングも行いながら進めていく。	金曜日1校時	泌尿器科医局	討論への参加態度、発表、レポートなど	10名
13	消化器内科	2年次後期 3年次前期 4年次前期 4年次後期	慢性肝疾患の症状とデータ異常はなぜ起こるのか？	市川 辰樹	慢性肝疾患の臨床症状、合併症と検査値異常を基礎から理解する	電子カルテを用い、臨床症例を提示し、それらの問題点を1例ずつ解決していく	水曜日午後5時から	消化器内科医局	各回における議論への参加度	前期6名 後期8名
14	産婦人科	2年次前期 2年次後期 3年次前期 4年次前期 4年次後期	女性医療の最前線	増崎 英明	産婦人科学は主に周産期、婦人科腫瘍、生殖内分泌および女性のヘルスケアの領域からなります。つまり、女性の一生をみる学問です。そこで、産婦人科が開講する医学ゼミでは、妊娠・出産、癌治療、あるいは月経異常など様々な領域に関する話題を取り上げ、活発な討論を通じて産婦人科の最前線について見識を深めてもらいます。	産婦人科領域のトピックスを取り上げたプログラムを企画しています。参加者は学生のほか、産婦人科医師、小児科医師、研修医、助産師が参加しています。周辺地域の関連病院の勤務医および開業医も参加し、まず、周辺地域の開業医から大学病院あるいは長崎市民病院に搬送された症例を取り上げて、管理・治療における問題点や産科救急について討論します。各週の担当講師が質疑応答を受けながらトピックスについて解説していきます。一方で、各週の担当講師が質疑応答を受けながら産婦人科に関連するガイドラインや、トピックスについて解説していきます。また、月に1～2回、産婦人科に関連した最新情報について、その分野の第一人者を外部講師としてお招きしてセミナーを開催します。したがって、討議には積極的に参加してください。	火曜日18:30-21:00(軽食有り)	産婦人科医局(第一臨床研究棟)(但し、産婦人科セミナーは良順会館もしくはポンベ会館で行う場合もあります。)	出席、討議への参加態度、レポート	10名

番号	講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内容	開講時間	場所	評価方法	受講可能人数
15	公衆衛生	2年次前期 3年次前期 4年次前期	論文から学ぶ公衆衛生学	青柳 潔	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	金曜日1校時	公衆衛生学資料室	積極性、レポート	10名
16	感染分子解析学	2年次前期 2年次後期 3年次前期 4年次前期 4年次後期	感染症PBL	西田 敦行	英文で書かれた感染症の症例報告の読解力を高め、かつProblem based learning の方法を学び総合学習能力を高める。	主にNEJM Case reportから感染症の症例を取り上げて、英文読解を行うとともに、各自自己学習目標を設定し、調べて来たことを発表しながら、グループ学習を行う(3症例程度)。	金曜日1校時	感染分子解析学 集会室(基礎8階)	出席、レポート、発表資料を総合的に評価する。	6~8名
17	免疫機能制御学	2年次前期 2年次後期 3年次前期 4年次前期	論文から学ぶ免疫学	由井 克之	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根底にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。「免疫学」の授業を履修した4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	金曜日1校時	医動物学教室 集会室	発表内容、レポート、討論への参加度、出席	10名
18	整形外科	2年次前期 3年次前期 4年次前期	整形外科入門	尾崎 誠	整形外科の専門知識や手術手技に触れる	実際の整形外科診療について楽しく学ぶ。外傷学:救急外傷の初期対応、骨折手術実習。人工関節:実際の人工関節インプラントに触れながらの講義、実習。スポーツ医学:日本体育協会スポーツドクターによる講義。 その他、骨軟部腫瘍外科、リウマチ外科、肩・膝関節鏡手術に関する講義と実習	金曜日1校時 (講師によって早く開始し早く終了する場合あり)	病院12階整形外科医局リフレッシュルーム	出席など	6名
19	論文から学ぶ生化学	2年次前期 2年次後期 3年次前期 4年次前期 4年次後期	論文から学ぶ生化学	伊藤 敬	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	日曜日午前10時	医学部基礎棟6階生化学教室カンファレンス室	出席、発表内容など	3名
20	精神科神経科	2年次前期 2年次後期 3年次前期 4年次前期 4年次後期	映画から見る精神医学	小澤 寛樹	具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論する	4・5時間目(水曜日17:00以降) (日程は講義初日に学生と協議のうえ決定) *5校時目以降に他の科目を受講する方はご留意ください。	長崎大学病院精神神経科カンファランスルーム(予定)	レポート50%、及びディスカッションへの参加状況50%	10名
21	先端医学支援センター	2年次後期 3年次前期 4年次前期 4年次後期	スポーツ医学概論	安武 亨	スポーツを通じて医学を学ぶ	運動生理学、スポーツ栄養学、スポーツ外傷学、トレーニング法など	火曜日または水曜日の5校時	ゼミ室、視聴覚室など	レポート等	11名
22	医療情報学	2年次後期 4年次後期	医療経営とマネジメント	松本 武浩	医学教育では、年々多岐に渡る知識が必要とされ追加されているが、医療を取り巻く環境も年々変化しており、その結果生まれた医療過誤や医療の質そして健全経営に関する知識も良質な医療を提供する上で重要視されている。しかしながら医療経営や病院マネジメントに関する教育は通常のカリキュラムに含まれていない。 一方このような分野に興味を持つ医学生も少なからず増えつつありそのニーズに応えるためにも医療経営と病院マネジメントに関する医学ゼミを企画した。	我が国では、現在、戦後最悪の円高、デフレ不況、低雇用率を経験し、「失われた20年」と呼ばれている。その間、高齢化は進み、社会保障費は毎年増加し、今や、日本もギリシャやスペイン、ポルトガル同様、国家財政破綻の危機すら指摘されている。このため政府は医療費削減に力を注いできたが、その結果、様々な地域で医師不足と医師の疲弊を惹起し、地域医療は崩壊の危機にある。このような社会情勢そして医療を取り巻く環境を知らずして良質の医療の提供は困難である。 一方、これまでの医師中心の医療から看護師、薬剤師をはじめ多くの医療にかかわる専門職とのチーム医療が重要視されるようになってきた。さらには、自院での病院完結型医療から地域の他の専門病院、診療所との連携が重視され、在宅医療までを含めた地域完結型医療への展開が求められており、確実に医療スタイルは新たなinnovationを遂げようとしている。このような現状を一つ一つ解説し、理解を深め21世紀の医療をともに考えていく貴重な議論と知識集積の場としたい。 <具体的内容> 医療経営・病院マネジメント概要、医療連携、DPC概論、医療安全、個人情報保護、医療の質向上への取り組み1(診療録管理、EBM)、医療の質向上への取り組み2(電子カルテと地域医療ICT連携、クリティカルパス)、物流システムとSPD、看護概論、在宅医療、組織横断的な質向上の取り組み(感染管理、NST、緩和ケア、褥瘡管理、嚥下管理、呼吸器ケア、ME機器管理)	水曜日17:30-19:10	第3講義室	レポート、プレゼンテーション	15名
23	腫瘍外科	3年次前期 4年次前期 4年次後期	鏡視下手術入門	大島 雅之 日高 重和	外科系部門では専門に応じた鏡視下手術がめざましく進歩し、機材の開発により従来の手術を凌駕する日がやってくるかもしれない。 鏡視下手術の歴史、理論を学びながら、実際に鏡視下手術を体験して最新の外科治療を体験してもらう。	鏡視下手術の基礎を学んだ後に実際に機材を使って体験してみる。基本的な機材の使用からより高度なテクニックに挑戦する。体験の合間に、胸部外科、消化器外科、内分泌外科、小児外科の鏡視下手術のビデオを視聴して最新の鏡視下治療に触れてもらう。機会があれば動物を使ったシミュレーション手術に参加する。	水曜日5校時	腫瘍外科医局、シミュレーション教室	期末レポート	6名

番号	講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内容	開講時間	場所	評価方法	受講可能人数
24	生化学	1～6年後期	国際医療英語 (定員20名、AO入試国際枠学生を優先する。)	伊藤 敬 西原俊明 小笠原 真司	国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読を意識した授業を行う。また、日本語と英語の表現方法の違いを学習する。特に学生が犯しやすい誤りとして、文法的な誤りの他、コロケーション(連語)の間違いや日英発想の違いによる誤り等も視野に入れて講義を行う。この授業を通して、英語の論の展開の仕方、さらには、英語を母語とする話者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。	授業では、演習的要素も取り入れ、リスニング、及び、スピーキングスキルの訓練を行う。また、医学に関わる英文記事を読み、短時間にまとめて英語で発表する訓練を併せて行う。	火曜日5校時	第1講義室	テストと課題、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。 テスト(70%)、課題・プレゼンテーション(20%)、授業への積極的参加(10%)	
25	先端医学支援センター	以下参照	臨床カンファランス	桑原 宏永 黨 和夫 松本 恵 山之内 孝彰 安武 亨 分部 哲秋	臨床カンファランスへの出席という形で臨床に触れ、学年に応じた自分の学習に生かす	診療科で実施されているカンファランスに出席する。そこで得たものを元に、自己学習を加えて、レポートを作成する。5回のカンファランスに出席し、5つのレポートを作成する。	別に示す診療科のカンファランスより1つを選択する。基本的には同一科のカンファランスに5回出席するものとする。	下記の通り	出席態度およびレポート内容(参加したカンファランスの科にかかわらず、レポートは医学支援センターに提出する。)	
〔先端医学支援センター内訳〕	第1内科	4年後期	臨床抄読会	桑原 宏永		神経内科・リウマチ膠原病内科・内分泌代謝内科に関連した臨床論文2編を紹介。現在入院中の症例に関する最新知見を共有する。	毎週金曜日7時45分から	12階カンファランス室	出席態度およびレポート内容	1名
	第2内科	4年後期	呼吸器カンファランス	福島 千鶴	呼吸器カンファランスへ出席することで臨床に触れ、今後の自分の学習に活かす。	呼吸器カンファランスに5回出席し、そこで学んだ事に自己学習を加えて5つのレポートを作成提出する。	毎週木曜日17時から	12階西カンファランス室	出席態度およびレポート内容	2名
	第2内科	4年後期	腎臓カンファランス	新井 英之	腎臓カンファランスへ出席することで臨床に触れ、今後の自分の学習に活かす。	腎臓カンファランスに5回出席し、そこで学んだ事に自己学習を加えて5つのレポートを作成提出する。	毎週木曜日16時30分から	13階東カンファランス室	出席態度およびレポート内容	1名
	第1外科	4年後期	術前・術後カンファランス	松本 恵	術前、術後カンファランスで実際の手術症例を通して手術適応や術式決定に至る経緯を学ぶことで今後の自分の学習に活かす。	予定手術および術後症例の提示と検討	毎週木曜日18時から	第1外科(腫瘍外科)医局(11階)	出席態度およびレポート内容	1名

国際医療英語

責任者	氏 名	伊藤 敬	内 線	7037
	教 室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	1～6年 前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	選択	単位数	前期1単位、後期1単位
英語名	English for Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の新聞記事から精選し、速読と精読のバランスを意識した授業を行う。

今年は、特に英語力の養成に焦点をあて、TOEIC 700前後の力を最低つけることを目標とする。特にTOEICにおけるリスニングセクションの対策を視野に入れて授業を行なう。また、医学に関する基本的な英語表現や語彙を身につけてもらう。

2. 授業内容（講義・実習項目）

授業では、演習的要素を取り入れ、日本語を英語らしい表現で書けたり言えたりできるように訓練する。また、リスニングの訓練も併せて行う。リスニングに関しては、TOEIC形式の問題にたくさん挑戦してもらう。リーディングに関しては、日本語訳にするよりも、英語を直接理解し、速読の訓練を行う。

3. 教科書、参考書等

前期の小笠原の授業で使用するテキストは、以下の2冊です。

1. *The Picture of Health* (南雲堂 1700円)

2. メディカル英語小事典 (第2版) (英光社 1100円)

テキストは、1回目の授業の時に、講師が持参するので、その場で購入してもらいます。1回目から、上の2冊のテキストを利用して、授業を始めます。なお、メディカル英語小事典を昨年購入した方は、購入の必要はありません。昨年購入したメディカル英語小事典を授業にご持参ください。

4. 成績評価の方法・基準

定期試験70%、小テスト15%、授業時の発表等15%で、総合的に評価します。合格ラインは、定期試験、小テスト、授業時の発表の総合評価で、60点以上です。

5. 教員名

学内非常勤 : 小笠原 真司 (大学教育機能開発センター)

6. 備考（準備学習等）

定員20名、AO入試国際枠学生を優先する。

予習は、講師指定の読み物を精読してきてください。また、医学英単語も毎週、予習で指定したものを覚えてきてもらいます。

TOEIC 750点をを目指す学生が受講してください。

出席が悪い学生は、お断りです。遅刻もお断りです。

授業計画は「1年次」参照。

国際医療英語

責任者	氏 名	伊藤 敬	内 線	7037
	教 室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	1～6年 後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	選択	単位数	前期1単位、後期1単位
英語名	English for Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読を意識した授業を行う。また、日本語と英語の表現方法の違いを学習する。特に学生が犯しやすい誤りとして、文法的な誤りの他、コロケーション(連語)の間違いや日英発想の違いによる誤り等も視野に入れて講義を行う。

この授業を通して、英語の論の展開の仕方、さらには、英語を母語とする話者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。

2. 授業内容(講義・実習項目)

授業では、演習的要素も取り入れ、リスニング、及び、スピーキングスキルの訓練を行う。また、医学に関わる英文記事を読み、短時間にまとめて英語で発表する訓練を併せて行う。

3. 教科書、参考書等

いろいろなジャーナルの論文を選ぶ予定である。その他、適宜、指示する。
プリント教材とテキストを利用する。

4. 成績評価の方法・基準

テストと課題、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。
テスト(70%)、課題・プレゼンテーション(20%)、授業への積極的参加(10%)

5. 教員名

非常勤 : 西原 俊明 (大学教育機能開発センター)

6. 備考(準備学習等)

定員20名、A0入試国際枠学生を優先する。

積極的に、そして真面目に授業に出ること。演習形式なので、出席を重視する。

授業計画は「1年次」参照。

(教室名：法医学) アドバンストリサーチセミナー (4年次)

責任者	氏 名	池松 和哉	内 線	7076
	教 室	法医学	e-mail	k-ikema@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜16:30-17:30		

対象年次・学期	4年前・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修 (研究医コース)	単位数	各1単位
英語名	Advanced research seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

法医学剖検症例について検討 (法医学剖検診断) を行う。さらに、現在の検査手法には生前の病態解明・剖検診断法に限界があること、つまり、新たな剖検診断法が法医学に必須であることを理解する。各人が興味を抱いた症例に関して問題点を整理し、新規の法医学診断法の確立をめざして、問題解決のための研究テーマを立案し、実験を実施する。得られたデータについて参考文献をもとに解釈し、学会発表・論文作成を行う。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

症例検討会にて発表を行い、問題点を整理し、問題解決のための研究テーマを立案する。
研究テーマに基づいて研究計画を立案し、実験を遂行する。
得られたデータについて意義を解釈し、実験成果についてプレゼンテーションを行う。

3. 教科書、参考書等

症例、研究テーマにそった学術論文、テキストを適時配布する。
各人が参考文献を検索することが望ましい

4. 成績評価の方法・基準

症例発表 (20%)、研究ノート (50%)、最終プレゼンテーション (30%) で評価する。

5. 教員名

池松和哉、梅原敬弘 (長崎大学)
久保真一 (福岡大学)、神田芳郎 (久留米大学)

6. 備考 (準備学習等)

金曜日の5校時以外の時間の研究参加も必要。
可能な限り法医学実務へ参加して下さい。

アドバンストリサーチセミナー授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	金	5	ガイダンス	法医学概論	池松和哉	大学院 セミナー 室
4	13	金	5	症例検討	法医実務症例の検討	池松和哉	大学院 セミナー 室
4	20	金	5	症例検討	法医実務症例の検討	神田芳郎	大学院 セミナー 室
4	27	金	5	症例検討	法医実務症例の検討	久保真一	大学院 セミナー 室
5	11	金	5	症例検討	症例発表	池松和哉	大学院 セミナー 室
5	18	金	5	カンファランス	研究テーマ立案	池松和哉	大学院 セミナー 室
5	25	金	5	カンファランス	実験計画立案	池松和哉	大学院 セミナー 室
6	1	金	5	カンファランス	実験計画立案	池松和哉	大学院 セミナー 室
6	8	金	5	実習	必要技術習得	池松和哉	大学院 セミナー 室
6	15	金	5	実習	必要技術習得	池松和哉	大学院 セミナー 室
6	22	金	5	実習	必要技術習得	神田芳郎	大学院 セミナー 室
6	29	金	5	実習	必要技術習得	久保真一	大学院 セミナー 室
7	6	金	5	実習	実験遂行	池松和哉	大学院 セミナー 室
7	13	金	5	実習	実験遂行	池松和哉	大学院 セミナー 室
7	20	金	5	実習	実験遂行	池松和哉	大学院 セミナー 室

アドバンストリサーチセミナー授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	28	金	5	実験	実験遂行	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
10	5	金	5	実験	実験遂行	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
10	12	金	5	実験	実験遂行	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
10	19	金	5	実験	実験遂行	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
10	26	金	5	実験	実験遂行	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
11	2	金	5	実験	実験遂行	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
11	9	金	5	実験	実験遂行	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
11	16	金	5	実験	実験遂行	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
11	30	金	5	実験	実験遂行	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
12	7	金	5	実験	実験遂行	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
12	14	金	5	実験	実験遂行	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
12	21	金	5	実験	実験遂行	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
1	4	金	5	実験	実験遂行	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
1	11	金	5	カンファランス	結果の整理	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室
1	18	金	5	カンファランス	研究発表	池松和哉、梅原敬弘	大学院セミナー室